

## 紀要『東洋学研究』総目次 (～第59号、別冊)

(注記：カッコ内の数字は裏表紙からの頁を示す。)

TOYO UNIVERSITY ASIAN STUDIES No. I 1961 (欧文紀要)

Preface

Married Women's Property in Chinese Legal History

—Mainly about the Married woman's Dowry —	Kōjirō ARAI	1
Dialogue Relating to <i>Ātman</i> and <i>Anātman</i> in “ <i>Milindapañhā</i> ”	Kyōshō HAYASHIMA	7
On the Word “ <i>Pien</i> 變”	Shōkō KANAOKA	15
Ādibuddha Thought as Seen from the Bodhisattva Concept	Shūyū KANAOKA	25
Concerning Various Views of Human Nature	Shunkyō KATSUMATA	33
Das Mathematische in dem Avataṃsaka Sūtra (1)	Keiich KOYAMA	47
The Concept and Practice of the Bodhisattva Way		
—with Special Emphasis on the Origin and Meaning of the Bodhisattva Concept—		
.....	Giyū NISHI	57
The New Buddhism of Kamakura and the Concept of Original Enlightenment		
.....	Yoshirō TAMURA	73
Institute News: Introducing the Institute for Asian Studies, Tōyō University		93

TOYO UNIVERSITY ASIAN STUDIES No. II 1964 (欧文紀要)

Preface

Ueber die Eigentümlichkeit des morgenländischen Wissenschaftsmodus	Bunō BABA	1
Das Mathematische in dem Avataṃsaka Sūtra (2)	Keiich KOYAMA	5
<i>Bashō</i> and <i>Zen</i>	Kazumi MIYANISHI	15
On the Bodhisattva: His Vows and Practices	Giyū NISHI	31
A View of War in Buddhism	Jun OHRUI	51
Comparative Research into Human Consciousness		
—Indian Thought and Depth-psychology	Kōshirō TAMAKI	65
On Vara-cakravartin and Bala-cakravartin	Shōkō WATANABE	83
Institute News: Introducing the Institute for Asian Studies, Tōyō University		89

和文紀要創刊号 (第1号) 1965年11月発行

創刊の辞	西 義雄	
入不二の哲学的意味	児山 敬一	1
三解脱門について —空観展開の一断面—	河村 孝照	11
華嚴經十地品における念仏	栗田 善如	27
浄土教における神秘主義的性格について		
—とくに観經及び善導を中心として—	河波 昌	37
古代中国における「人」の自覚とその基底	小林多加士	47
漢代樂府詩より観たる“棄婦”の条件について	阿部正次郎	55

大伴旅人の生き方……………	市村 宏	67
平安初期における成仏思想の新展開……………	勝又 俊教	77
シナ司命思想の日本的受容		
—泰山府君と赤山(しやくさん)明神を例として—……………	岩佐 貫三	85
一遍聖の念仏について……………	石岡 信一	95
吉田兼好の人間観 —「徒然草」の一研究—……………	宮西 一積	105
人間賤視の構造的諸問題		
—日本近世賤民秩序と穢タブーをめぐる法民俗学的試論— ……	荒井貢次郎	117
藁科貞祐の所説について ……	藤井 正夫	129
日本の近代小説に現れたる宗教の人間像 ……	伊東 一夫	145
原始仏教における人間観 —特に人間と人、及び仏陀と凡夫— ……	西 義雄	(9)
インド哲学諸派と「ことば」の本性論 ……	大類 純	(1)
東洋学研究所報告		
編集後記		

## 第2号 1967年8月発行

道行考……………	市村 宏	1
春日信仰と翁舞神事		
—賤民系芸能の宗教社会史的研究の新史料—……………	荒井貢次郎	13
草根集・巻第九における人間観……………	児山 敬一	23
「禪茶録」考 —特にその「数奇」論について—……………	宮西 一積	31
短歌の伝統における自然と宗教の問題……………	伊東 一夫	39
「王陵」「李陵」変文等について —敦煌本講史類の一側面—……………	金岡 照光	55
大乘仏教における構想力の論理(試論)		
—特に初期大乘經典における考察— ……	河波 昌	65
バガヴァン・ダースとマドゥスーダン・ダットにおける「自治」の哲学……………	大類 純	77
一遍における出家の動因についての考察……………	石岡 信一	87
「徒然草」における無常観についての試論 ……	小田 寛子	95
太宰春台の思想史的体質のもの —その著『独語』の上の— ……	藤井 正夫	101
仁と実存 —儒教の人間主義と専制主義の根源— ……	小林多加士	105
十王思想の成立過程における二、三の問題		
—主として西域的資料を中心として— ……	岩佐 貫三	115
ŚRĪ-VAJRA-MANḌALĀLAMKĀRA-NĀMA-MAHĀTANTRA-RĀJĀ の構造 ……	福田 亮成	(49)
入楞伽經如来常無常品の註釈的研究 —入楞伽經本文研究の試み—……………	菅沼 晃	(39)
古代インドにおける道 —プリンシパルウパニシャッドを中心にして—……………	栗田 善如	(29)
撰真実論序章の翻訳研究……………	渡辺 照宏	(15)
Mīmāṃsā-sūtra 試訳 ……	金岡 秀友	(1)
東洋学研究所報告		
編集後記		

## 第3号 1969年3月発行

菩薩の主體的利他行としての活動力の根基……………	西 義雄	1
大乘涅槃經における法身思想の一考察……………	河村 孝照	15

芸術学からのインド宗教美術論考……………	大類 純	41
墨家の人間学と社会哲学……………	小林多加士	47
史記列伝小考……………	新田 幸治	59
再論文淑法師 —俗講の諸様相— ……	金岡 照光	69
「アジアの生産様式」論と共同体理論 ……	高瀬 浄	85
日本思想史の方法……………	児山 敬一	99
「忠」の東漸 —能楽「安宅」の場合— ……	市村 宏	115
近世における陰陽道思想の歪雑性とその残滓		
—河内・陰陽戸を中心として—……………	岩佐 貫三	121
近代浄土教における我の自覚史 ……	河波 昌	133
大正期における島崎藤村と芭蕉 —「妻への手紙」を中心に—……………	伊東 一夫	149
「Sādhana」に示された Rabindranath Tagore の思想 ……	栗田 善如	(11)
An Index to the Vaiśeṣika sūtra ……	金岡 秀友	(1)
昭和 43 年度東洋学研究所報告		
編集後記		

## 第 4 号 1970 年 3 月発行

ヒトリとココノツ —日本数理史の研究として。……………	児山 敬一	1
ト占と電子計算機 —万葉集の中で—……………	市村 宏	25
神道における陰陽思想とその展開 —一試論— ……	岩佐 貫三	41
大乘涅槃経における大般泥洹経と大般涅槃経との比較研究……………	河村 孝照	55
神話と歴史に関する一論考		
—大乘仏教神話における歴史哲学的考察—……………	河波 昌	83
法家の社会体系理論……………	小林多加士	97
デュニャーナミトラ著『聖般若波羅蜜多理趣百五十註釈』の和訳 (1) ……	福田 亮成	111
密教における阿字の一探求について ……	真柴 弘宗	119
インド古典修辭学に関する文法諸家断章 ……	大類 純	(1)
昭和 44 年度東洋学研究所報告		

## 第 5 号 1971 年 3 月発行

数 2 の哲学にかかわる歴史的なもの……………	児山 敬一	1
問答歌の特質 —万葉集の心と言葉— ……	市村 宏	31
大乘涅槃経と華嚴経……………	河村 孝照	49
近世の巡礼往来手形と村鑑……………	荒井貢次郎	67
現代マルクス主義哲学の基本問題 (上)		
—現代マルクス主義と科学技術革命—……………	小林多加士	73
遁世者としての一遍について……………	石岡 信一	89
松尾宗房卿家のあらし ……	藤井 正夫	109
『説法用歌集』について ……	針原 孝之	123
シルパ・シャーストラにおける絵画論……………	清水 乞	135
デュニャーナミトラ著『聖般若波羅蜜多理趣百五十註釈』の和訳 (2) ……	福田 亮成	149
伊豆の歌における島木赤彦の芸術的深化の考察 ……	伊東 一夫	159
陰陽学と陰陽道 —その系譜と概念規定のために— ……	岩佐 貫三	175

入楞伽經における五法説の研究 .....	菅沼 晃	189
彙報「ガンダーラ調査略報告」 .....	河村 孝照	209
昭和45年度東洋学研究所報告		

## 第6号 1972年3月発行

数1の性質とそのことば(上) .....	児山 敬一	1
老の歌 一万葉集にみる .....	市村 宏	31
伊豆国・番非人資料と賤民系譜 一法民俗学と法社会学の接点一 .....	荒井貢次郎	43
高村光太郎における東洋的なもの .....	伊東 一夫	63
鬼に関する中国的発想 .....	岩佐 貫三	83
正徹の著作に現れた兼好について .....	小田 寛子	97
五取蘊について .....	森 章司	107
デュニヤーナミトラ著『聖般若波羅蜜多理趣百五十註釈』の和訳(3) .....	福田 亮成	125
社会主義朝鮮の農村管理体系について .....	高瀬 浄	135
神学と人間学とのあいだ 一浄土教的基盤におけるその問題解決の一方途一 .....	河波 昌	157
昭和46年度東洋学研究所報告		

## 第7号 1973年3月発行

児山敬一教授略歴・主要著書 .....		1
児山敬一先生 .....	市村 宏	3
日本陰陽道の暦学への回帰 一渋川春海思想にみる肯定と否定一 .....	岩佐 貫三	5
均如大師伝の研究(上) .....	李 永洙	21
大仏頂首楞嚴經における如来蔵思想 .....	周 綉鶯	49
業思想の日本的展開 一緒論 井上円了の妖怪学について一 .....	河村 孝照	65
一遍上人の回心について .....	石岡 信一	81
万葉歌の人間造型 .....	市村 宏	109
藤村文学の構造としての「深さ」と「静けさ」 .....	伊東 一夫	119
弘法大師和歌考 .....	塚田 晃信	135
デュニヤーナミトラ著『聖般若波羅蜜多理趣百五十註釈』の和訳(4) .....	福田 亮成	163
昭和47年度東洋学研究所報告		

## 第8号 1974年3月発行

## 地下万葉

一「悦酒滲」を枕にして .....	市村 宏	1
ポックリ往生寺の創建と寺務管理 一奈良県斑鳩町の清水山・吉田寺の民俗と未公開資料一 .....	荒井貢次郎	9
法師陰陽師のおこなう祓について 一その雑乱性と本質の移行一 .....	岩佐 貫三	27
梵文造像量度経注釈概観 .....	清水 乞	39
均如大師伝の研究(中) .....	李 永洙	53
原始仏教の「無常・苦・無我」説 .....	森 章司	75

東西評価への試み……………	矢島智津子…	95
一遍聖の熊野参籠について ……	石岡 信一…	107
井上円了の社会教育 ……	河村 孝照…	125
昭和 48 年度東洋学研究所報告		

## 第 9 号 1975 年 3 月発行

中国偽似経への一考察 —十王経の系流を中心として— ……	岩佐 貫三…	1
橘諸兄……………	市村 宏…	15
一遍聖の熊野参籠について (二) ……	石岡 信一…	35
井上円了の靈魂不滅論について……………	河村 孝照…	53
武蔵国の神仏習合現象 —飯能市・子の権現社とその縁起の場合—……………	荒井貢次郎…	67
国文学のジャータカ (一) —三宝絵を中心として— ……	塚田 晃信…	77
家持歌における心情表現の一樣相……………	針原 孝之…	93
務台博士所蔵東洋学研究所寄贈仏書目録 ……		105
昭和 49 年度東洋学研究所報告		

## 第 10 号 1976 年 3 月発行

阿毘達磨仏教に於ける仏陀の本願説 —附、菩薩の悪趣願生説—……………	西 義雄…	1
大將軍信仰について (一) —琵琶湖周辺のダイジョコまつりとの関連—……………	岩佐 貫三…	37
妖怪学の一視点……………	河村 孝照…	49
家持歌の序詞……………	針原 孝之…	67
一遍聖の熊野参籠について (三) ……	石岡 信一…	83
屏山文庫本 花伝拔萃……………	市村 宏…	107
〔資料紹介〕近世・関東、伊豆国・下層民衆・社会法制史資料集録 ……	荒井貢次郎…	135
眞言宗十卷章引用諸經論校勘 ……	福田 亮成…	155
昭和 50 年度東洋学研究所報告		

## 第 11 号 1977 年 3 月発行

阿育王の仏教受用と其の「法」の意味……………	西 義雄…	1
論敦煌本対話体文献……………	金岡 照光…	21
『維摩詰所説経』に見る羅什訳の特質 ……	大鹿 実秋…	39
大乘涅槃経と沙門果経……………	河村 孝照…	51
入楞伽経の唯心論……………	菅沼 晃…	63
北条仲時軍勢自害をめぐる法宗教史的分析・(一)・資料篇 (I) —中世・近江国・時衆・蓮華寺教団と過去帳の問題—……………	荒井貢次郎…	83
= 研究調査旅行報告 =		
アフガニスタン・パーキスタン調査考……………	金岡 秀友…	97
彙報……………		105
Kāśyapaśilpaśāstra 所説の塑像技法 ……	清水 乞…	(1)

## 第12号 1978年3月発行 創立20周年記念号

まえがき 一東洋学研究所20周年記念号に寄せて—	金岡 照光	
阿育王をめぐる比丘達—		
特にモッガリプッタチッサとウパグプタ	西 義雄	1
敦煌文学文献常用語彙の性格	金岡 照光	13
近世封建・下層身分の由来書		
一甲斐国・都留郡・郡内領の未刊資料の場合—	荒井貢次郎	31
一遍聖の名号観(一) 一能所・機法一体を中心に—	石岡 信一	39
島木赤彦の中世的思想	伊東 一夫	45
修験道における秘呪経(九重守経)とその大衆化の過程		
一佼成図書館架蔵経を中心として—	岩佐 貫三	53
仏所成立時期に於ける仏師について	榎本 榮一	65
維摩経の副題「不可思議解脱」批判	大鹿 実秋	71
宮沢賢治における宗教的側面の思考	大島一之輔	79
金光明経の仏身論	金岡 秀友	87
明代仏教史考	河村 孝照	107
菩提達摩とその周辺(一)		
道育と僧副について	里道 徳雄	117
楞伽経三万六千一切法集品訳註(二)	菅沼 晃	123
「戦後日本中小企業法の史的展開(一)		
一法律学と経済学の両側面からみて—	丸山 稔	131
彙報		139

## 第13号 1979年3月発行

説一切有部宗と初期大乘との関係	西 義雄	1
長吏頭・弾家墓制の考証と資料	荒井貢次郎	9
金光明経の懺悔思想	金岡 秀友	21
羅什訳法華経訓訳に関する問題点	河村 孝照	37
一遍聖の名号観(二) 一語録における名号の表現—	石岡 信一	47
土御門家・天曹地府祭の性格と実態	岩佐 貫三	55
阿毘達磨大毘婆娑論における菩薩思想の一考察		
一特に阿毘曇毘婆娑論と鞞婆娑論と比較して—	祖父江章子	63
均如大師伝の研究(下、一)	李 永洙	71
=研究調査旅行報告=		
訪中報告 一文物・博物館・図書館・大学等—	金岡 照光	83
彙報		113

## 第14号 1980年3月発行

近世賤民の流罪人 一伊豆国「新島流人帳・賤民系流人抜書」—	荒井貢次郎	1
陰陽五行思想と窮理思想		
一鄒衍の世界観の学際的思考を一例として—	岩佐 貫三	15
清代仏教史考	河村 孝照	25

日蓮の『選択集』批判について —『守護国家論』を中心として—	田村 晃祐	41
一遍聖の名号観 (三) —弥陀仏身土について—	石岡 信一	57
護国所問経訳注 (一)	岡本 嘉之	69
校異試訳『敦煌本法鉢十二時』—ペリオ 3113 号写本を中心として—	川崎ミチコ	79
『西域中華海東仏祖源流』僧名索引稿 —朝鮮仏教僧名集成Ⅵ—	里道 徳雄	91
『スールサーガル』における教義の表現	鈴木 良明	123
比叡山よりみた法然批判	中山 清田	131

第15号 1981年3月発行

「大小俱行」と「顕密双修」	金岡 秀友	1
島崎藤村の自然観 (一) —成立と展開—	伊東 一夫	7
陰陽五行思想から弁証法への近世的脱皮 —昌益・梅園の側面を見る—	岩佐 貫三	17
中華民国仏教史考	河村 孝照	27
一遍聖の名号観 (四)	石岡 信一	45
入唐八家請来録の研究 —資料編 密教都 (一) —	榎本 榮一	53
『海東高僧伝』僧名索引稿 —朝鮮仏教僧名集成Ⅲ—	里道 徳雄	71

第16号 1982年3月発行

仏教の草木成仏観と生命科学	西 義雄	1
中国古代天文曆学思想と陰陽五行説 —astronomy と astrology—	岩佐 貫三	21
= 海外研究動向 =		
近年中国に於ける敦煌研究の動向 —敦煌研究専刊・専論簡介—	金岡 照光	33
書評 市村宏著『万葉集と万葉びと』	塚田 晃信	71
書評 水野弘元著『法句経の研究』	森 章司	73

第17号 1983年3月発行

最澄『決権実論』について	田村 晃祐	1
徳清著『起信論疏略』の資料的研究	河村 孝照	7
仏典の比喩における仏陀観 [三]	森 章司	29
一遍上人の名号観 (五)		
—「十一不二頌」と「六十万人頌」について—	石岡 信一	39
六国史における仏典と法会について (一)	榎本 榮一	55
高麗仏教に於ける八関会の構造	里道 徳雄	75
書評「チベット研究文献目録 日本文・中国文篇 一八七七年～一九七七年」		
貞兼綾子編。亜細亜大学、アジア研究所刊。昭和五十七年四月。	岡本 嘉之	93

第18号 1984年3月発行

伊駒宝山寺本『覚禅鈔』について —奥書を中心として—	清水 乞	1
現代ヒンディー風刺文学	鈴木 良明	19

六国史における仏典と法会について (二) .....	榎本 榮一	25
井上円了の妖怪学と仏教の業思想 .....	河村 孝照	53
方以智研究雑記 —中国弁証法の濫觴— .....	岩佐 貫三	65
均如大師伝の研究 (下二) .....	李 永洙	75
均如大師伝第四立義定宗分に於ける「華嚴教中先公の鈔三十余義」について		
海外学術予備調査報告 (一) —中国仏教調査報告— .....	河村 孝照	85
海外学術予備調査報告 (二) .....	川崎ミチコ	103
The Meaning of the 'True Teaching' of Shinran's Major Work: the <i>Kyōgyōshinshō</i> .....	MURAISHI Esho 村石 恵照	(1)

## 第19号 1985年3月発行

爾雅・積山篇の五岳重出問題と五行思想の南遷 .....	岩佐 貫三	1
章安の涅槃経観 —とくに涅槃経玄義において— .....	河村 孝照	11
六国史における仏典と法会について (三) .....	榎本 榮一	47
The Meaning of the 'Act' ( <i>gyō</i> ) in Shinran's Major work: the <i>Kyōgyōshinshō</i> .....	MURAISHI Esho 村石 恵照	(1)

## 第20号 1986年3月発行

『成菩提集』についての一試論 —構成と引用文献を中心にして— .....	榎本 榮一	1
梵語仏典の冒頭の慣用語 'evaṃ mayā śrutam ekasmin samaye' と、 その漢訳およびチベット語訳文について .....	岡本 嘉之	21
初期大乘仏教における宗教体験の世界 —鏡・像、水・月 (日) 喩をめぐって— .....	河波 昌	29
自業自得論 .....	河村 孝照	41
南朝三僧伝の研究 (一) .....	里道 徳雄	61
A Study of Shinran's Major Work: the <i>Kyōgyōshinshō</i> —The Structure and Intent of the Triple-world As Demonstrated in Its <i>Volume on the Buddha-Land Transformed</i> — .....	MURAISHI Esho 村石 恵照	(1)

## 第21号 1987年3月発行

敦煌本逸真讚攷 .....	金岡 照光	1
法華経法師品 (DHARMA-BHĀṆAKA-PARIVARTAN) について .....	河村 孝照	17
「教行信証」読解についての諸問題 .....	村石 恵照	41
造像銘記における工人名に関連して .....	榎本 榮一	53
法成重訳『金光明最勝王経』諸本の比較研究序説 .....	岡本 嘉之	(1)

第22号 1988年3月発行

大鹿実秋先生の遺影

大鹿実秋教授略歴・主要著作目録

大鹿実秋先生	金岡 照光	
最澄と維摩経	田村 晃祐	1
法華経見宝塔品 (STUPA-SAMDARŚANA-PARIVARTAH) について	河村 孝照	9
井上円了と真宗大谷派教団	森 章司	23
『神道集』における仏典について — 「神道由来之事」を中心に —	榎本 榮一	45
インド戯曲論にみられる男性観	清水 乞	(1)

第23号 1989年3月発行

現代観に依る佛陀本願の大悲行と佛慧命論 — 無尽縁起観による開顕 —	西 義雄	1
『成菩提集』についての一試論 (二)	榎本 榮一	27
海外調査出張報告	河村 孝照	49
ヒンディー散文学における農村	鈴木 良明	(69)
ラーガー・マーラー画における映像と表現	清水 乞	(21)
婆沙論に説かれた縁起論 (婆沙論綱要)	河村 孝照	(1)

第24号 1990年3月発行

『吾妻鏡』における仏典と法会・修法について	榎本 榮一	1
敦煌本『佛説長者女菴提遮師子吼了義経』校訂テキスト	岡本 嘉之	71
調査報告	河村 孝照	83
阿毘達磨大毘婆沙論綱要 (V7 ~ V9)	河村 孝照	(1)

第25号 1991年4月発行 敦煌文献目録 スタイン・ペリオ蒐集 (漢文文献編)  
金岡照光 編 編集協力 河村孝照・柿市里子

序	金岡 照光	i
追悼のことは	大島 建彦	iii
凡例		v
スタイン蒐集漢文文献 (No. 1~6980 木刻1号~19号)		1
ペリオ蒐集漢文文献 (No. 2001~6040)		211

第26号 1991年6月発行

大乘は師資相承に依る釈尊の真説

— 小乗は滅后数百年後の有部教徒のとける方便非仏説 —	西 義雄	1
『真信公記』における仏典と法会について	榎本 榮一	9
昭和61年度より平成2年度に至る研究所員・研究員の研究活動報告		41
『漢語史稿』引用例語彙分類索引 — その1 —	柿市 里子	(69)

ブラバー・ケターンの小説について……………	鈴木 良明…	(55)
続蔵経所収「序・跋」著者人名索引……………	河村 孝照…	(1)

第27号 1992年3月発行 金岡照光先生追悼記念号

金岡照光先生の遺影

金岡照光教授略歴・主要著作目録

金岡照光先生追悼記念号刊行にあたって……………	大島 建彦	
疫神祭祀の民俗……………	大島 建彦…	1
縁起の滅と悟りの縁起……………	森 章司…	11
僧法尼と誦出經典群 —南朝偽経成立の一断面— ……	里道 徳雄…	29
經典の転読について……………	榎本 榮一…	45
『大乘修行菩薩行門諸経要集』における菩薩道(二)……………	岡本 嘉之…	59
阿毘達磨大毘婆娑論における釈迦菩薩像……………	祖父江 章子…	65
学祖の哲学堂経営思想と南無絶対無限尊について……………	近藤 文剛…	73
楊朱学説と『列子』楊朱篇……………	柿市 里子…	87
平成3年度 研究所員・研究員の研究活動報告……………		97
阿毘達磨大毘婆娑論綱要(V13—V14) ……	河村 孝照…	(1)

第28号 1992年3月発行 敦煌文献目録 スタイン・ペリオ蒐集

(漢文文献編索引 上巻) 河村孝照・柿市里子編

序……………	大島 建彦…	i
凡例……………		iii
1. 経籍…1 2. 諸子…2 3. 道教經典…3 4. 術数…7 5. 追福・祈願等…12 6. 律・令・勅…17 7. 契約…18 8. 籍…21 9. 歴史…22 10. 韻文・散文…25 11. 教育…40 12. 文字・銘…40 13. 韻書…42 14. 類書…43 15. 書儀…44 16. 書簡…44 17. 範…45 18. 啓…46 19. 結社・社…46 20. 転帖類…47 21. 記録・帳簿類…48 22. 牒・状等…55 23. 図・像・画・絵…62 24. 般若経…66 25. 法華経…73 26. 浄土経…77 27. 維摩経…80 28. 楞伽経…81 29. 陀羅尼・神咒…82 30. 真言…85		

第29号 1993年3月発行 敦煌文献目録 スタイン・ペリオ蒐集

(漢文文献編索引 下巻) 編集協力 柿市里子・玉野井純子

31. 諸経…87 32. 雑載…118 33. 補遺…122 34. 識語・印・説明等参照番号…127 35. 絵画検字…135		
36. 附録(ペリオ蒐集チベット文献番号及びその他の非漢文文献点数) ……		1
37. 後記……………		i
38. 後序……………	河村 孝照…	i

第30号 1993年3月発行

円覚寺に於ける年中行事について……………	近藤 文剛…	1
----------------------	--------	---

修験道に於る『三即一』『不二』思想 —法具に表現された事例—	中山 清田	31
『吉水法流記』『法水分流記』の翻刻とその研究 第一部 資料篇	牧 哲義	45
—平成4年度 彙報—		109
13世紀はじめのブッダ・ガヤー〔資料篇〕		
—ダルマスヴァーミン『インド巡礼記』第4・5章訳註—	田崎 國彦	(69)
中央アジア出土の般若経梵文断簡 I —PV 第六現觀をめぐって—	渡辺 章悟	(41)
大乘涅槃經における「氣」の訳例	金子 芳夫	(21)
インドの暦の研究 (1)	鈴木 良明	(7)
A Comparative Study of Yi T'oegye and Spinoza	KASAI Tadashi 笠井 貞	(1)
(李退溪とスピノザ)		

第31号 —西 義雄先生追悼号— 『総合研究 アジアにおける宗教と文化』  
1994年3月発行

刊行の辞	河村 孝照	1
追悼篇		
西義雄先生御影・略歴		9
西義雄先生を追悼する	菅沼 晃	11
追憶・西義雄先生	勝又 俊教	15
西義雄先生の存在	古田 紹欽	17
西義雄先生を偲んで	玉城康四郎	19
西先生の学風を仰ぐ	早島 鏡正	21
西義雄先生と早稲田大学	三崎 良周	23
西義雄先生を偲ぶ	恩田 彰	25
菩薩道の慈父	小林 圓照	27
西先生と大倉精神文化研究所	鎌田 純一	29
論文篇		
[日本の部]		
大乘は師資相承に依る釈尊の真説		
—小乗は滅后数百年後の有部教徒のとける方便非仏説—	西 義雄	33
最澄から円仁へ	田村 晃祐	51
平安朝文学における習俗語		
—「立ちながら」「ひとひめぐり」「ひとよめぐり」覚え書—	神作 光一	71
法然における学の体系と実践の体系	河波 昌	91
法然門下の初期の系譜資料		
—『吉水法流記』と『法水分流記』について—	牧 哲義	113
親鸞の宗教と文化	五十嵐明宝	161
道元と良寛 —比較思想的考察—	笠井 貞	185
修験道における宗教文化	中山 清田	211
『九暦』にみられる法会と修法について	榎本 榮一	233
日本の仏教宗派の分布動向	北村 嘉行	257
[中国の部]		
『大阿弥陀経』および『平等覚経』の翻訳に関する考察	岡本 嘉之	285
道教における齋法の成立	山田 利明	309
嵇康の音楽論	玉野井純子	339

宗密『原人論』と唐代の宗教文化……………	河村 孝照…	357
敦煌出土「大目乾連冥間救母変文」校勘訳注(一)……………	柿市 里子…	381
	渋谷誉一郎	
	遊佐 昇	
『臨濟録』に見る「真正の見解」とその構造……………	里道 徳雄…	435
[インド・チベットの部]		
「律蔵」の諸特性とインド文化……………	森 章司…	477
阿毘達磨大毘婆娑論における菩薩行 —特に波羅蜜多行を中心として— ……	祖父江章子…	505
チャイタニヤの宗教と「名号」論……………	橋本 泰元…	519
Introduction to Tibetan <i>bsDus Grwa</i> Logic ……	Kunchok SITHAR	クンチョック・シタル… (195)
A Study on the Tibetan Monastic System		
……………	Sonam Gyaltzen Gonta	ソナム・ギャルツェン・ゴンタ… (181)
ナーランダー仏教大学最後の光景 [資料篇]		
—ダルマスヴァーミン『インド巡礼記』第10章訳註— ……	田崎 國彦…	(149)
インドの暦の研究(2) —ヒンドゥー教の文化、ヴラタについて(1)— ……	鈴木 良明…	(133)
インド運動論の原典翻訳 II		
—バダールタダルマサンガラハ、およびその注釈書、		
ニャーヤカンダリー第3章“運動”(karman)の翻訳 II ……	大網 功…	(103)
初期ラーガ・ディヤーナについて……………	清水 乞…	(79)
Yaśomitra 著 <i>Sphuṭārthā</i> における仏教語の文法的解釈 [I]		
—abhidharma-の語義— ……	渡邊 郁子…	(51)
大乘涅槃經の女性観……………	金子 芳夫…	(27)
蔵漢対訳『虚空蔵菩薩經』(1)……………	金岡 秀友…	(1)
編纂について		
執筆者略歴		

## 第32号 1995年3月発行 河村孝照博士退任記念号

河村孝照博士略歴・業績目録……………		1
臨濟禪とその宗教文化 —鎌倉五山を中心として— ……	近藤 文剛…	1
海北友松の新発見の作品について……………	伊藤 宏見…	25
『十住毘婆沙論』と『十地經論』 —不退転の問題に因んで— ……	五十嵐明宝…	57
近世日本における風狂と死 —仏教・茶道・切支丹をめぐって— ……	中里 巧…	75
『般舟三昧經』チベット訳及び漢訳諸本に於ける比較研究		
—特に『般舟三昧經』と空思想との関係について—……………	林 純教…	81
浄土教の原宗教体験について……………	村石 恵照…	95
阮籍と嵇康……………	玉野井純子…	107
—平成6年度 彙報— ……		117
ヴァイシェーシカ学派における「<世界の>創造と破壊」の原典翻訳 I		
—バダールタダルマサンガラハおよびその注釈書、		
ニャーヤカンダリー第1章「実体」、第6節「創造と破壊」I— ……	大網 功…	(1)

## 第33号 1996年3月発行 里道德雄先生追悼記念号

## 里道德雄先生の遺影

## 里道德雄教授略歴・業績目録

里道德雄先生追悼記念号刊行にあたって……………	河波 昌	
法華経と日本思想(一)……………	河村 孝照	1
草木成佛について—殊に印融法印の場合—(その一)……………	伊藤 宏見	21
歌枕「信夫の里」について—西行の風土を考える基盤として—……………	高城 功夫	49
敦煌出土「大目乾連冥間救母変文」校勘訳注(二)……………	柿市 里子	65
	洪谷誉一郎	
	遊佐 昇	
経典の空読(そらよみ)について……………	榎本 榮一	89
「陳述」の批判を巡って—ハイデガーと日本文学学者たち—……………	相楽 勉	103
平成7年度 彙報……………		113
仏性難見の十喩にみられる個性化の過程……………	金子 芳夫	(1)

## 第34号 1997年3月発行

島木赤彦における自然と信仰の構造—山と湖と光を中心に—……………	伊東 一夫	1
国学者夏目麿齋の思想……………	河村 孝照	11
大乘仏教経典に見られる正定聚・不退転について……………	五十嵐明宝	25
草木成仏について(その二)		
—殊に宥快法印とラフカディオ・ヘルン(小泉八雲)の場合—……………	伊藤 宏見	41
「日本挽歌」標題考……………	大久保廣行	69
親鸞・浄土教史観序説……………	村石 恵照	87
織田作と安吾・『世相』と「墮落論」—近代文学研究の楽しさ—……………	竹内 清己	107
敦煌出土「大目乾連冥間救母変文」校勘訳注(三)……………	柿市 里子	123
	洪谷誉一郎	
	遊佐 昇	
茶道思想における修道性と「死」の概念……………	中里 巧	147
法然教団周辺の人々—『法水分流記』成立の背景をたずねて—……………	牧 哲義	167
『親鸞伝絵』より見た初期真宗教団と法然門下諸流(一)……………	岡本 嘉之	183
『一万頌般若経』の特異性……………	林 純教	191
即心是仏とインマヌエル……………	橋 稔	209
慶長十五年の神託—近世神道靈験記の世界から—……………	阪口光太郎	225
『摧邪論』の批判にみる明恵の修道観……………	鈴木 善鳳	239
嵯康の“楽”……………	玉野井純子	253
平成8年度 彙報……………		263
ヨーガスートラの身体観……………	番場 裕之	276(57)
『決定義経註(Don rnam par gdon mi za ba'i 'grel pa)』序分研究		
—校訂・和訳・注解—……………	石川 美恵	288(45)
西明円測と五姓各別論—慈恩教学との比較研究—……………	橘川 智昭	306(27)
<あるがまま>を吟味する		
—原始仏教における yathābhūtaṃ・yathābhūta- の語義と用法〔I〕—……………	田崎 國彦	332(1)

## 第35号 1998年2月発行

道元とヘーゲルの真理論 —比較哲学的研究—	笠井 貞	1
『あゆひ抄』の「言霊」について	根上 剛士	15
草木成仏について (三) —論則としての消長—道邃・頼宝の場合—	伊藤 宏見	27
折口信夫の国学論 —日本近代文学史の成立にむけて—	竹内 清己	47
十返舎一九における「しゃれ」と「滑稽」	中山 尚夫	61
ジャータカにおける菩薩行 —特に施波羅蜜多を中心として—	祖父江章子	71
御斎会試論	榎本 榮一	77
日本中世宗教音楽試論 —キリスト教音楽の受容—	下崎 結	95
平成8年度特別研究「日本宗教文化の種々相」研究報告	河波 昌	105
シンポジウム報告「日本宗教文化の種々相 —日本における諸宗教の相剋と融合—」		
日本宗教文化における「無」の思想		
—キリスト教と仏教との出会いの中で—	花岡 永子	112
諸宗教の相克か融合か	J. W. HEISIG J・W・ハイジック	120
日本仏教の特色と他宗教との関係	田村 晃祐	126
茶道思想における「死」の概念	中里 巧	134
平成9年度 彙報		149
引用句より見た”Śāṅkara-Bhagavadgītābhāṣya”の構成	高木 健翁	164(101)
ヨーガ行法と「癒し」	番場 裕之	176 (89)
ダライ・ラマ1世著『解脱道解明』和訳		
—AK I - 4～7偈に対する註釈—	現銀谷史明	188 (77)
『決定義経釈 (don rnam par gdon mi za ba'i 'grel pa)』第一章研究		
—「如是我聞一時」と「世尊」の解釈—	石川 美恵	200 (65)
『俱舍論』における邪見と邪智について	遠藤 信一	212 (53)
『金剛經變相』について —宋代佛教の一面を伝える特異な文献—	伊吹 敦	236 (29)
附録：『金剛經五十三如來註』 —『金剛經集解』と『金剛經變相』に基づいて—		
Die Dimension des Unbeschränkten	HASHI Hisaki 橋 杢	264 (1)
—Das transzendente Ideal Kants und “das absolute Nichts” bei Nishida—		
(カント『純粹理性の至上理念』と西田哲学における『絶対無』の比較考察)		

## 第36号 1999年3月発行

草木成仏について (四) —殊に頼寶・道範の場合—	伊藤 宏見	1
狂歌と百人一首 —その史的展開—	中山 尚夫	21
良寛とその書について	蓮見 行廣	33
現代日本文学の〈ヴィ〉 堀辰雄と中野重治		
—一九二〇年代・「驢馬」時代—	竹内 清己	47
大乘經典解説の試論 —Sukhāvātīyūhaの場合—	村石 恵照	59
シンポジウム報告		
「形相と空」—ウィーン大学哲学部における交流論究会—	河波 昌	74
公開講演会		
老荘思想における《無》の立場		
—西洋哲学における《無》の系譜との比較考察—		
.....Werner GABRIEL ヴェルナー・ガブリエル		91
独文和訳 橋 杢		

平成10年度 彙報 .....	108
日本語による「歌おらしょ」 .....	下崎 結・124 (93)
ゲンドゥンドゥップ (ダライ・ラマ1世) 著『解脱道解明』和訳 —Abhidharmakośakārikā: I-8 ~ 24 偈に対する註釈— .....	現銀谷史明・150 (67)
『決定義経積 (Don rnam par gdon mi za ba'i 'grel pa)』研究 —第一章「処円満・眷族円満」、第二章「『決定義経』の説かれた発端」— .....	石川 美恵・178 (39)
『俱舍論』における眼見家と識見家の論争 .....	遠藤 信一・190 (27)
HEN-PANTA (I. TEIL) .....	HASHI Hisaki 橋 稔・216 (1)
—Das Problem der Kontradiktorik in der Wesenslogik von Zen und Hegel— (ヘーゲル《大論理学》における矛盾律の問題と 鈴木禅学・秋月禅学における《般若即非の論理》〈第一部〉)	

## 第37号 2000年3月発行 河波昌博士 退任記念号

河波昌博士 略歴・業績目録 .....	i
河波昌先生を送る .....	大久保廣行・vi
仏教における「平等」概念について .....	河波 昌・1
草木成仏について (五) 一 道範筆受の秘藏記鈔 — .....	伊藤 宏見・15
唯識史観試論 — 応用仏教学として — .....	村石 恵照・31
義湘系華嚴学派の基本思想と『大乘起信論』批判 — 義湘と元暁の対論記事の背後にあるもの — .....	佐藤 厚・51
三條西実隆連歌作品考 (一) .....	千艘 秋男・83
『慶長見聞集』と中世文学 — 『宝物集』、『庭訓往来抄』に関連して — .....	阪口光太郎・101
萩原朔太郎と聖書 .....	野呂 芳信・111
現代日本文学の〈ヴェイ〉 堀辰雄と中野重治 (二) — 1920年代 (二) — .....	竹内 清己・125
高見順の死生観 — 「死の淵より」以後 — .....	百瀬 久・143
書家の読む源氏物語 「源氏物語の〈手〉について」 .....	三宅 高司・161
臨書法 .....	蓮見 行廣・175
平成11年度 東洋大学 東洋学研究所事業報告 .....	191
現代インド思想における〈心理学〉 .....	甲田 烈・232(183)
不二一元論学派における「大文章」の一考察 .....	佐竹 正行・258(157)
「印度哲学者とは誰か (1)」 — 第一世代の実体概念理解をめぐる — .....	三浦 宏文・272(143)
シャンカラ著 『バガヴァッドギーター註』における主宰神とブラフマンの関係 .....	高木 健翁・284(131)
ネワール語文法ノート .....	吉崎 一美・312(103)
インド仏教の法滅思想 I — 『金剛般若』の法滅句をめぐる — .....	渡辺 章悟・336 (79)
慧可と『涅槃論』(上) .....	伊吹 敦・356 (59)
室町時代の老荘研究について .....	王 廸・370 (45)
HEN-PANTA (II. TEIL) .....	HASHI Hisaki 橋 稔・394 (21)
—Das Problem der Kontradiktorik in der Wesenslogik von Zen und Hegel— (ヘーゲル《大論理学》における矛盾律の問題と 鈴木禅学・秋月禅学における《般若即非の論理》〈第二部〉)	
The Demise of Reason and After (理性の終焉とその後) .....	CHOUNG, Haechang 丁 海昌・414 (1)

## 第38号 2001年3月発行

草木成佛について(六) —中川實範上人の大經要義鈔—	伊藤 宏見	1
三條西実隆連歌作品考(二)	千艘 秋男	13
現代日本文学の〈ヴィ〉 堀辰雄と中野重治(三)		
—一九三〇、四〇年代・二つの道—	竹内 清己	41
呉昌碩の篆刻と側款	蓮見 行廣	51
經典の真読について	榎本 榮一	69
青森県新郷村「なにやどやれ」の変移	下崎 結	83
バイオエシックスの議論と間柄の倫理 —人格に関する一考察—	大鹿 勝之	93
シンポジウム「東西宗教思想の課題」(平成12年1月22日)		105
東洋大学 東洋学研究所事業報告		133
比較現象学試論 —普遍宗教論と心の論理—	甲田 烈	176(147)
ハタ・ヨーガの初期形態について ~ Gorakṣasataka にみる ~	番場 裕之	188(135)
不二一元論学派における認識論の一考察	佐竹 正行	202(121)
自我と意識の相関性(上)		
—『プラシャスタパーダ・パーシュヤ』における ātman と manas の定義—		
三浦 宏文	218(105)	
シャンカラ著『バガヴァッドギーター註』第三章翻訳	高木 健翁	242(81)
『解脱道論』における修行法について		
—煩惱論から見た修行道—	遠藤 信一	254(69)
慧可と『涅槃論』(下)	伊吹 敦	270(53)
日本における『老子』受容 —主として書誌的観点より—	王 廸	288(35)
Konfuzius als Philosoph	Werner GABRIEL ヴェルナー・ガブリエル	304(19)
The Method of the History of the Idea	NAKAZATO Satoshi 中里 巧	322(1)

## 第39号 2002年3月発行

現代日本文学の〈ヴィ〉 堀辰雄と中野重治(四)		
—戦後の道・別れの曲—	竹内 清己	1
芥川龍之介の「蜃気楼」(上) —凝視と感受—	山崎 甲一	15
宗教思想から見た萩原朔太郎の詩について —『青猫』スケッチ—	野呂 芳信	31
高見順の見たビルマ —民間信仰を手がかりに—	百瀬 久	45
『庭訓抄』の注釈に関する一覚書き —前稿の修正、他—	阪口光太郎	69
飛鳥井雅世年譜考(一)	千艘 秋男	75
近世俳諧師の発心 —不夜庵太祇の場合—	谷地 快一	93
草木成佛について(七) —秘藏抄の草木成佛、事と重誉の教相抄(一部)—	伊藤 宏見	113
何紹基の書法	蓮見 行廣	127
『健拏標詞—乗修行者秘密義記』の基礎的考察	佐藤 厚	147
東洋大学 東洋学研究所事業報告		179
近代大谷派の社会事業観 —『救済』の記事を中心に—	鈴木 善鳳	232(219)
自我と意識の相関性(下)		
—精神活動と認識論における ātman と manas の連関—	三浦 宏文	248(203)
不二一元論学派における解脱観の一考察	佐竹 正行	268(183)
シャンカラ著『バガヴァッドギーター註』第四章翻訳	高木 健翁	294(157)
二諦と自性 —チベットにおける『俱舍論』解釈の一断面—	現銀谷史明	308(143)

『正法念処経』における「風」について —チベット訳を中心として—	石川 美恵	326 (125)
チベットに旅立つ男とネパールに残される女		
—阿尼哥の結婚から『ムナ・マダン』まで—	吉崎 一美	350 (101)
北宗禪系の『法句経疏』について	伊吹 敦	376 (75)
自己決定権と間柄の倫理		
—自己決定権における自己と日本語の「人間」の意味—	大鹿 勝之	388 (63)
認識と論理 —ヘーゲル論理学における「死せる A」と般若即非の論理の地平—		
.....	橋 稔	406 (45)
Zum Problem der Tugend in der chinesischen Philosophie		
.....	Werner GABRIEL ヴェルナー・ガブリエル	424 (27)
Pragmatic Rationality: the Case of Koreans	CHOUNG, Haechang 丁 海昌	438 (13)
Kierkegaard's Thoughts and the Outlaw-Traditions		
—the Origins of 'den enkelte' and an Application of the Ideal		
History of Northern Europe to the Comparative Thoughts—		
.....	NAKAZATO Satoshi 中里 巧	450 (1)

## 第40号 2003年3月発行

堀辰雄の北海道に刻した戦後〈雪の上の足跡〉		
—「北方風物」所載「フランシス・ジヤムに」と更科源藏宛書簡と—	竹内 清己	1
戦争と信仰 —戦時下における龜井勝一郎—	山本 直人	15
高見順の戦時下の思索 —『高見順日記』昭和二十年—	百瀬 久	37
和泉式部と「なでしこ」	新井 幸恵	53
長崎県生月島の「おらしょ」について	下崎 結	67
為永春水における宗教	山杳 誠	79
草木成佛について (八)		
—重誉作『教相抄』(『密宗要決鈔』より) 最終—	伊藤 宏見	91
安然撰『菩提心義抄』の五教思想に関する一考察		
—与奪の二論を中心に—	土倉 宏	103
修験道文献『修験道修要秘決』の研究 —修験道における袈裟—	中山 清田	115
〈研究ノート〉: 敦煌本『仏説地藏菩薩経』管見	川崎ミチコ	127
東洋大学 東洋学研究所事業報告		143
『サンクシェーパチャーリーラカ』に見られる		
初期不二元論学派の無明観について	佐竹 正行	194 (175)
シャンカラ著『バガヴァッドギーター註』第五章翻訳	高木 健翁	214 (155)
シャーキャチョクデン著『毘婆沙大海』第九章の考察	現銀谷史明	232 (137)
金剛藏菩薩撰『金剛般若経註』校訂テキスト	伊吹 敦	268 (101)
王陽明の『大学問』について —朱子『大学章句』との比較—	吉田 公平	292 (77)
知の技術的解釈 —三木清の技術論—	相楽 勉	306 (63)
On the Relationship between Western and Eastern Philosophy		
.....	Werner GABRIEL ヴェルナー・ガブリエル	324 (45)
The Concept and the Metamorphosis of Care		
—For the Comparative Study of the History of Ideas in East and West—		
.....	NAKAZATO Satoshi 中里 巧	332 (37)
紀要『東洋学研究』総目次 (～第39号)		368 (1)

## 第41号 2004年2月発行

百人一首絵小考 —絵巻と扁額と— ……………	千艘 秋男	1
世阿弥能における浄土思想……………	原田 香織	11
「神の国」におけるラフカディオ・ハーン ……………	豊田 政子	25
良純法親王年譜稿……………	大内 瑞恵	41
堀辰雄における《信濃》・日本のふるさと ……………	竹内 清己	63
戦時期龜井勝一郎の宗教的思索 —『親鸞』と自力の超克— ……………	山本 直人	77
草木成佛について (九) 一頼瑜の眞俗雜記問答鈔第一—……………	伊藤 宏見	97
〈研究ノート〉:『玉歴鈔傳』について (一) —『玉歴鈔傳』紹介— ……………	川崎ミチコ	117
『修験修要秘決集』『修験三十三通記』に記された 「法螺」「最多角念珠」「錫杖」「縁笈之事」……………	中山 清田	145
『宗鏡録』卷二十八所引「雜華嚴經一乘修行者秘密義記」について —房山石経刻経『健拏標詞一乘修行者秘密義記』との対照研究—……………	佐藤 厚	159
公開講演会 平成14年12月7日 —忘れられた満州文学— 「五族協和に撤した作家大滝重直—『劉家の人々』を軸に」……………	三田 英彬	183
東洋大学 東洋学研究所事業報告……………		199
初期不二元論学派の宇宙論について……………	佐竹 正行	256(185)
四元素と世界の構成 —『プラシヤスタパーダ・バーシュヤ』における四元素説の解明—……………	三浦 宏文	270(171)
クリスチャン・ブイ著 『ナータ派ヨーガ行者と諸ウパニシャッド』抄訳— (2) —……………	橋本 泰元	296(145)
『念佛三昧寶王論』に見る禪の動向 ……………	伊吹 敦	320(121)
チベット語訳『能断金剛般若経』校訂テキスト (I) ……………	渡辺 章悟	336(105)
中世日本における『列子』及び『列子虞齋口義』の受容考……………	王 廸	350 (91)
人物評論集としての『論語』……………	吉田 公平	374 (67)
論理と生命 —西田哲学と西谷哲学の場合— ……………	甲田 烈	392 (49)
人工妊娠中絶と水子 —アメリカと日本における中絶の状況と水子供養における胎児の位置— ……	大鹿 勝之	414 (27)
Zum Begriff der Natur in der chinesischen Philosophie ……………	Werner GABRIEL ヴェルナー・ガブリエル	428 (13)
The History of the Idea and the Concept “Identity” ……………	NAKAZATO Satoshi 中里 巧	440 (1)

## 第42号 2005年3月発行

三十六歌仙絵の資料二種 —かるたと版本と— ……………	千艘 秋男	1
謡曲における雅楽引用の機構 —世阿弥能と『教訓抄』— ……………	原田 香織	19
石見相聞歌の視界 —時空構造把握への射程— ……………	上安 広治	37
和泉式部の発想方法 —観音信仰— ……………	新井 幸恵	57
『源氏物語』における女性の出家について ……………	鈴木 美弥	71
近世地下歌人の哀傷歌 —河瀬菅雄編『ふもとの塵』『続ふもとの塵』より— ……	大内 瑞恵	87
四季派と更科源蔵 —堀辰雄、北方の〈ゆきあい〉— ……………	竹内 清己	97
戦時期龜井勝一郎の歴史人物論 —『聖徳太子』への道— ……………	山本 直人	111
死に臨む態度 —上田三四二の「うつしみ」— ……………	大鹿 勝之	125
草木成佛について (十)		

一性寂の秘密儀軌随聞記(二十三)。鵝珠鈔(下)。隆瑜の秘藏記拾要記(巻七) — .....	伊藤 宏見	141
静遍『統撰択文義要鈔』における仏身論.....	熊田 順正	155
朝鮮華嚴における実践の一考察 —高麗均如の尽不尽観— .....	佐藤 厚	181
東洋大学 東洋学研究所活動報告.....		195
新潟県蒲原平野における農業水利秩序の考察.....	穂本 洋哉	262(125)
ヴァイシェーシカ思想の評価について —「自然哲学」的側面と「宗教性」の問題—.....	三浦 宏文	278(109)
クリスチャン・ブイ著 『ナータ派ヨーガ行者と諸ウパニシャッド』—抄訳(3)—.....	橋本 泰元	308(79)
空海の老莊観 —『三教指歸』を中心に— .....	王 勉	318(69)
春日潜庵先生叢書のことなど .....	吉田 公平	330(57)
福澤諭吉の「啓蒙期」女性論における近代化と〈東洋的なもの〉.....	前原有美子	350(37)
The Sense of Einstein's Theory of Relativity in Nishida's "Logic of Field" .....	HASHI Hisaki 橋 稔	366(21)
Nietzsche und Zhuangzi: Ein Beispiel vergleichender Philosophie .....	Werner GABRIEL ヴェルナー・ガブリエル	380(7)
Christianity and the Primitive in Nordic Ideal History .....	NAKAZATO Satoshi 里 巧	386(1)

## 第43号 2006年3月発行 川崎信定博士 退任記念号

川崎信定先生を送る.....	森 章司	i
老病死に関する万葉歌文集成 —第一部「老」・第二部「病」和歌編— .....	大久保廣行	1
上安 広治		
世阿弥伝書の受容 —『わらんべ草』における「道」の意識— .....	原田 香織	23
堀辰雄における西欧文学 —ブルースト受容の持続— .....	竹内 清己	39
堀口大學の初期短歌 —吉井勇を視座として— .....	土屋 聡	59
戦争末期における龜井勝一郎 —『日月明し』を中心に— .....	山本 直人	91
草木成佛について(十一) —玄廣『草木成仏之事』— (前篇) —.....	伊藤 宏見	107
台密の円密一致思想としての「伝法聖者闕略」 —安然・仁空の書を中心に—.....	土倉 宏	115
『御堂関白記』における仏事について— .....	榎本 榮一	131
「人に忍びざるの政」とは(一) —朱熹の「仁」の思想を再考する— .....	小路口 聡	145
明治初年の土地均分論 .....	白川部達夫	169
公開講演会 平成17年11月30日 樋口一葉の表現技術 —「たけくらべ」をめぐって— .....	山田 有策	197
東洋大学 東洋学研究所活動報告.....		227
ソクラテスの刑死と日本の切腹 —引責自殺との比較考察— .....	大鹿 勝之	298(107)
チベットにおける三世実有思想の展開と受容 .....	現銀谷史明	314(91)
GONTA, Ngawang Woesung ゴンタ・ガワンウースン		
ヴァイローチャナ(Vairocana)の筆名に関する伝承について.....	石川 美恵	328(77)
ヴァイシェーシカ学派の paratva・aparatva について.....	三浦 宏文	342(63)
クリスチャン・ブイ著 『ナータ派ヨーガ行者と諸ウパニシャッド』—抄訳(4)—.....	橋本 泰元	360(45)
無求備齋主人嚴靈峯の老莊研究 —その日本老莊学の書誌的研究を兼ねて—		

.....王 勉	372 (33)
神呪の系譜 — 初期雑密経典から道教経典へ .....	菊地 章太 392 (13)
河井継之助異聞 — 『陽明学』(鉄華書院)の一隅— .....	吉田 公平 404 (1)
川崎信定博士略歴・業績目録 .....	416 (i)

第44号 2007年3月発行 大久保廣行博士・森章司博士 退任記念号

大久保廣行博士 略歴・業績 .....	i
森 章司 博士 略歴・業績 .....	iv
大久保廣行先生を送る .....	吉田 公平 x
森 章司 先生を送る .....	吉田 公平 xi
老病死に関する万葉歌文集成 — 第一部「老」・第二部「病」 文章編— .....	大久保廣行 1
上安 広治	
謡曲と禪的世界 — 『放下僧』における禪問答— .....	原田 香織 17
室生犀星に映す茂吉・静雄・辰雄・迢空・道夫の死の射影	
— 昭和二十八年の文学往来— .....	竹内 清己 33
川端康成『掌の小説』論 —— 「バツと鈴虫」、光の戯れについて .....	山崎 甲一 45
バルザックの遊歩における「東方」 .....	朝比奈美知子 55
和泉式部歌における無常観 .....	新井 幸恵 75
翻刻『後撰夷曲集抜書』 .....	大内 瑞恵 87
住吉大社の御田植神事の変遷(後) — 住吉踊登場— .....	鈴木 明子 109
龜井勝一郎の天皇観 — 『陛下に捧ぐる書翰』について— .....	山本 直人 125
「人に忍びざるの政」とは(二) — 司法の場における「仁」の思想— .....	小路口 聡 143
戦国期の頼みと公儀 .....	白川部達夫 165
東洋大学 東洋学研究所活動報告 .....	181
紀平哲学における自我と姓名と生命 — 『自我論』を中心として— .....	大鹿 勝之 242(201)
伊藤博文の日本社会論 — 「帝国憲法制定の由来」を素材として— .....	小島 伸之 260(183)
明治期における倫理思想 .....	末次 弘 288(155)
初期不二一元論学派における個我観 .....	佐竹 正行 312(131)
『カーシー・ラハスヤ』に見られる聖地巡礼の作法 .....	宮本 久義 324(119)
新羅華嚴と『釈摩訶衍論』との関係をめぐるとの手がかり	
— 引用文献の一致に着目して— .....	佐藤 厚 334(109)
「東山法門」と「楞伽宗」の成立 .....	伊吹 敦 360 (83)
人見卜幽軒と『老子齋齋口義抄』 .....	王 勉 372 (71)
『女青鬼律』の成立と初期道教における救済思想の展開 .....	菊地 章太 396 (47)
河井継之助と陽明学 — 司馬遼太郎『峠』にことよせて— .....	吉田 公平 408 (35)
Zur Rolle der Musik im konfuzianischen System der Philosophie	
..... Werner GABRIEL ヴェルナー・ガブリエル .....	424 (19)
The Comparative Ideal History of Norway and Denmark	
— The Norwegian Wooden Church and Søren Kierkegaard—	
..... NAKAZATO Satoshi 中里 巧 .....	442 (1)

第45号 2008年3月発行

狂言の「くづし」の美 — 『わらんべ草』における身体意識— .....	原田 香織 1
-------------------------------------	---------

愛と死生の妙諦・堀辰雄におけるリルケ受容 —訳解と雑記—	竹内 清己	17
龜井勝一郎と敗戦 —自伝『我が精神の遍歴』の成立背景—	山本 直人	41
「人に忍びざるの政」とは(三) —宋王朝の「寛仁」政策と朱熹の刑罰論—	小路口 聡	59
草木成佛について(十二) 無量光院 玄廣『草木成佛之叟(事)』—後篇—	伊藤 宏見	81
静遍教学の特異性について —諸師の批判を通して—	熊田 順正	97
東洋大学 東洋学研究所活動報告		123
新宗教とエスノセントリズム —生長の家の日本中心主義の変遷をめぐって—		
戦争体験記で描かれた「生と死」—『孫たちへの証言』を事例に—	寺田 喜朗	198(179)
紀平哲学における「なるほど」	川又 俊則	218(159)
Dr. Morita's Psychophysical Therapy and its Relation to the Way of Thinking in Zen-Buddhism	大鹿 勝之	230(147)
	HASHI Hisaki 橋 稔	246(131)
ゲンドゥンドゥップ(ダライラマ1世) 講述『解脱道解明』和訳		
—Abhidharmakośakārikā: I-25~28 偈に対する註釈—	現銀谷史明	258(119)
古代デカン国家の地方統治 —ラーシュトラクータ朝後半期の事例を中心に—		
	石川 寛	274(103)
林羅山と『首書老子經』	王 勉	286(91)
墓誌銘に見る初期の禪宗(上)	伊吹 敦	302(75)
洞淵神呪経逐鬼品の救済思想	菊地 章太	326(51)
近代日本における道徳概念と道徳教育の位置づけ		
—第二次世界大戦前後の政治的背景と道徳概念変容の端緒—	中里 巧	352(25)
宮内黙藏年譜稿	吉田 公平	376(1)

## 第46号 2009年3月発行 東洋学研究所50周年記念号

東洋学研究所五十周年記念号に寄せて	山崎 甲一	i
千手千眼の理 —『わらんべ草』における狂言論—	原田 香織	1
『古今著聞集』の管絃歌舞説話序論	櫻井 利佳	17
続 愛と死生の妙諦・堀辰雄におけるリルケ受容 —作品展開—	竹内 清己	35
戦後龜井勝一郎の文明評論		
—『現代人の研究』から『二十世紀日本の可能性』へ—	山本 直人	55
越後における検地名請と質地請戻し慣行	白川部達夫	75
「人に忍びざるの政」とは(四) —朱熹の死刑論と人間の尊厳について—		
	小路口 聡	95
行為的己の論理 —西田幾多郎『哲学論文集 第二』をめぐって—	相楽 勉	119
古写本二点		
道教の『秘密口傳鈔』と祐宣筆写の印融二十四帖の『秘傳鈔』について	伊藤 宏見	131
東洋大学 東洋学研究所活動報告		149
伊勢地方のミコ寄せと民俗宗教	平山 眞	218(207)
信教自由に対する宗教団体法施行の影響	小島 伸之	232(193)
少子高齢社会を支える宗教指導者 —老年期の牧師・元牧師を中心に—	川又 俊則	244(181)
無主語の世界像 —日本語において省略される行為者の位置—	大鹿 勝之	260(165)
地方行政区画ベルヴォラ300の統治について		
—ラーシュトラクータ朝時代の事例を中心に—	石川 寛	276(149)
『ゴラクシャ・シャタカ』試訳(1)	番場 裕之	290(135)
近代日本における『原人論』の再発見と論争 —高橋五郎と織田得能の論争—		

.....	佐藤 厚	304(121)
墓誌銘に見る初期の禪宗(下) .....	伊吹 敦	322(103)
『瓶護摩儀軌』翻訳研究 .....	山口しのぶ	336(89)
日本における『老子』研究の流転 .....	王 勉	348(77)
敦煌写本『老子変化経』の構造と生成 .....	菊地 章太	372(53)
シェリング、歴史哲学の可能性 —「自己意識の歴史」と「経験」としての歴史— .....	長島 隆	392(33)
北方の人々とオホーツク文化の基層 —北方宗教習俗をめぐる諸要素— .....	中里 巧	414(11)
横井小楠の長岡監物宛の一書簡について .....	吉田 公平	424(1)

## 第47号 2010年3月発行

近世後期主穀生産地域の肥料商と流通 .....	白川部達夫	1
西田最晩年の思索への途上 —西田幾多郎『哲学論文集 第三』をめぐって— .....	相楽 勉	27
死を演じる —狂言『鎌腹』における死の思想— .....	原田 香織	41
白河院五十御賀の試楽覚書 .....	櫻井 利佳	55
満洲への詩魂 —室生犀星『哈爾濱詩集』— .....	エルドンバートル	73
龜井勝一郎『日本人の精神史研究』への軌跡 .....	山本 直人	87
「他処」の失墜 —フローベール『感情教育』における東方のイメージ— .....	朝比奈美知子	111
佛花器の変遷と種類 —金工と古陶磁— .....	伊藤 宏見	125
『前識談』の構造からみる海保青陵の思想 .....	坂本 頼之	143
東洋大学 東洋学研究所活動報告 .....		163
日蓮系新宗教における生命主義的救済観の生成・展開・変容 —創価学会における救済観の変遷— .....	大西 克明	228(229)
戦後新宗教におけるナショナリズム言説の諸相 —大衆ナショナリズムの発露とその論法— .....	寺田 喜朗	244(213)
老年期の信仰と生活 —元牧師の類型と抱える諸問題を中心に .....	川又 俊則	264(193)
無主語の世界像(2) —日本語において省略される行為者と隠れたる存在— .....	大鹿 勝之	276(181)
土田杏村の倫理思想 —近代日本における“全体性”をめぐって— .....	渡邊 郁子	290(167)
チベットの地位をめぐる三つの言説の実態と形式 —清末民初期の蔵中英関係を中心に— .....	田崎 國彦	318(139)
初期不二元論学派の付託観の展開 .....	佐竹 正行	338(119)
『サマランガナ・ストラダラ』第8章和訳と註解 .....	出野 尚紀	360(97)
北宗における禪律一致思想の形成 .....	伊吹 敦	378(79)
中世日本における禪文化と老荘 .....	王 勉	390(67)
洞淵神呪経写本校異(一) .....	菊地 章太	414(43)
Vom Begriff der Zeit in der chinesischen Philosophie .....	Werner GABRIEL ヴェルナー・ガブリエル	430(27)
『文府滑稽』について —その序文に見る「大道」と「滑稽」— .....	坂井多穂子	440(17)
『本朝異学問答』について .....	吉田 公平	456(1)

## 第48号 2011年3月発行

狂言における連歌の機構	原田 香織	1
彗星と天皇と狂歌 —寛文四年の彗星と生白堂行風撰『古今夷曲集』序論—	大内 瑞恵	17
武田泰淳『森と湖のまつり』と島尾敏雄『死の棘』		
—辺境(北方・南方)からの諸声—	竹内 清己	31
萩原朔太郎と西欧哲学 —『青猫』『氷島』を中心に—	エルドンバートル	49
モダンガールの断髪と自我		
—ささきふさと「婦人グラフ」の東京モード—	水谷 真紀	71
龜井勝一郎の晩年と近世観		
—『日本人の精神史研究』第五部構想と中絶—	山本 直人	83
平安時代中期の古記録にみられる葬地と葬送儀礼		
—『小右記』を中心として—	榎本 榮一	103
『十地論義疏』と『大乘五門十地実相論』		
—周叔迦説の検討を中心として—	山口 弘江	117
海保青陵の二心論と「空」	坂本 頼之	135
天主・太極論争 —見えざる者に対する意識—	播本 崇史	151
東洋大学 東洋学研究所活動報告		167
我国における「地域社会と宗教」研究の成果と課題		
—村落社会におけるキリスト教の受容研究を中心に—	寺田 喜朗	224(223)
「祈る場所」の可能性 —キリスト教主義老人ホームの比較検討を通じて—	川又 俊則	238(209)
シオラン思想における神秘について —西洋思想と東洋思想の交流—	行武 宏明	256(191)
風景と死 —補陀落渡海と海の風景—	大鹿 勝之	270(177)
井上円了『仏教活論序論』における真理の論証	佐藤 厚	284(163)
ゴク・ロデンシェーラプの般若心経註について		
—試訳・Romanized transcription text—	現銀谷史明	304(143)
	GONTA, Ngawang Woesung	ゴント・ガワンウースン
『真実光明論』(Tattvāloka) 研究:		
“直接知覚による無自性性の証明”の議論に関して	計良 龍成	316(131)
デカン南西部カルナータカ地方の建築家・彫刻家・石工たち		
—前期チャールキヤ朝の事例から—	石川 寛	334(113)
ヒンドゥー建築論において用いられる単位とその長さについて	出野 尚紀	352(95)
室町期から江戸期までの老荘関係書物		
—主として東北大学附属図書館の所蔵本について—	王 勉	366(81)
洞淵神呪経写本校異(二)	菊地 章太	388(59)
朱熹気質論における「心」の位置と役割	辻井 義輝	404(43)
池田盛之助の修学日記『中州遊覧日記』『己酉日記』について	吉田 公平	428(19)
古代北方社会における血の復讐 —サガ・イヌイト伝承・カレワラ・アイヌ伝承—		
	中里 巧	446(1)

## 第49号 2012年3月発行 竹内清己博士記念号

竹内清己博士略歴・主要業績一覧		i
竹内清己先生の教授職ご退職に寄せて	中里 巧	xi
日本近代文学への問い —“いのち”を巡る一年—	竹内 清己	1

金春禅竹『稻荷山参籠記』における信仰形態……………	原田 香織	15
萩原朔太郎の文学における「竹」の座 —詩と神話— ……	エルドンバートル	31
亀井勝一郎と戦後の文壇……………	山本 直人	53
遊歩者ユイスマンスが見た「現代」空間……………	朝比奈美知子	71
馬鈴の研究 ……	伊藤 宏見	93
中国仏教における実相解釈に関する一考察		
—地論宗の用例を中心として— ……	山口 弘江	123
王畿晩年の「自訟」についての考察……………	小路口 聡	137
明末天主教「格物」論攷……………	播本 崇史	161
東洋大学 東洋学研究所活動報告……………		181
キルケゴール思想と遠藤周作について……………	行武 宏明	260(311)
風景と死の記憶 —補陀落渡海と風景の記憶— ……	大鹿 勝之	274(297)
井上円了における神の本体の論証とキリスト教者の批評		
—『哲学一夕話』第二編をめぐって—……………	佐藤 厚	294(277)
清末民初期における「チベットの独立」を語る言説と史料……………	田崎 國彦	322(249)
インダ的調気法と中国的「呼吸法」について……………	番場 裕之	334(237)
ヴァーカータカ朝研究の新動向		
—おもにアジャンター後期窟造営との関連から……………	石川 寛	354(217)
ヒンドゥー建築論における都市と街路の関係……………	出野 尚紀	374(197)
シャーキャチョコクデンの般若心経註について……………	現銀谷史明	390(181)
『真実光明論』(Tattvāloka) 研究:		
“推論による無自性性の論証”の議論に関して(1)……………	計良 龍成	402(169)
「東山法門」と國家權力……………	伊吹 敦	436(135)
六国史にみる般若経……………	渡辺 章悟	460(111)
江戸時代における老莊研究の展開		
—口義本の流行とそれからの脱却—……………	王 廸	472(99)
慈氏菩薩圖像存疑……………	菊地 章太	492(79)
池田盛之助の『一齋先生訪問日記』について……………	吉田 公平	510(61)
日本の新宗教における自利利他連結轉換装置……………	西山 茂	522(49)
「近代医学」と「自然療法」の相克		
—「医学の危機」論争、あるいはドイツにおける近代医学の確立への道程を背景にして— ……………	長島 隆	544(27)
村山節法則史学とリアリティ……………	中里 巧	570(1)

## 第50号 2013年3月発行 吉田公平博士記念号

吉田公平博士略歴・主要業績一覧……………		i
吉田公平先生を送る……………	橋本 泰元	xvii
往還する詩劇 —能『鷹姫』考……………	原田 香織	1
萩原朔太郎「郷土望景詩」論考 —伝統文明と異文化の交錯空間 ……	エルドンバートル	15
亀井勝一郎『人生論』における戦中と戦後……………	山本 直人	37
折口学説に結ぶ与謝野晶子・川端康成・太宰治 —日本文学持ち歩き— ……	竹内 清己	51
井上哲次郎「現象即実在論」の方法論的意義……………	相楽 勉	77
鰐口管見……………	伊藤 宏見	91
井上円了における伝統仏教体系と仏教・哲学一致論		
—『八宗綱要ノート』から『仏教活論序論』へ—……………	佐藤 厚	117

シャマニズムの原始的形態についての一考察	胡 樹	133
青陵の自己と徂徠の「クルワ」	坂本 頼之	149
補陀落渡海と常世 —補陀落渡海と入水往生・龍燈伝承との関係—	大鹿 勝之	165
東洋大学 東洋学研究所活動報告		181
遠藤周作とキリスト教 —罪と悪—	行武 宏明	264(281)
アウンサンスーチーの民主化運動における慈悲と平和な社会の構築	田崎 國彦	292(253)
前期チャールキヤ朝史の再検討 —3代王・4代王の治世を中心に—	石川 寛	308(237)
サーンキヤ思想におけるグナ論 —3種のグナによる輪廻の様相—	三澤 祐嗣	334(211)
ヒンドゥー建築論書における都市の内部構成について	出野 尚紀	354(191)
Bhāruçi: <i>Manuśāstravivaraṇa</i> 第8章訳注(1)	沼田 一郎	366(179)
ネワール仏教のダシャカルマ・プラティシュター		
—イヒ儀礼とプラティシュターを中心として—	藤森 晶子	382(163)
『禪本草』と袁中道の『禪門本草補』—『禪本草』の原形と清代における両者の混同—		
	ロビン・トリノ	396(149)
新羅浄土教研究方法論 —新羅仏教パラダイムの視座から—	愛宕 邦康	408(137)
基撰『金剛般若経賛述』の真偽問題について	林 香奈	422(123)
寛文五年版『莊子虞齋口義』「頭注」の資料価値	王 勉	442(103)
罪を分解する —六朝道教の死霊祭祀から現代へ—	菊地 章太	454(91)
血の復讐の解決を求めて		
—エンデ・キルケゴール・バイキング・アイヌのばあい—	中里 巧	472(73)
Zum Begriff des Geistes in der antiken chinesischen Philosophie		
	Werner GABRIEL ヴェルナー・ガブリエル	484(61)
岡本巍の『気運論』について	吉田 公平	506(39)
紀要『東洋学研究』総目次(～第49号、別冊)・著者索引		544(1)

## 第51号 2014年3月発行

墓所の機能についての一考察 —伊弉冉尊の葬所伝承地を事例として—	菊地 義裕	1
世阿弥能楽論における「聞」	原田 香織	13
川端康成と坂口安吾 —ことばの力・文字言語表現のチカラ—	山崎 甲一	25
梶井基次郎「冬の蠅」論 —作品に現われている死生観の考察を中心に—	鎌形 英人	41
萩原朔太郎『氷鳥』論考 —家郷喪失の自覚—	エルドンバートル	59
谷崎潤一郎『痴人の愛』まで、その他 —日本文学持ち歩き(二)—	竹内 清己	83
龜井勝一郎における中国認識 —戦後アジア主義のロマン的再生—	山本 直人	107
初期日本哲学における実在問題 —西周と井上円了にとっての「哲学」—	相楽 勉	121
道快編『寛空等印信類聚』(仮題)について(その一)	伊藤 宏見	135
明末天主教における容教士人たちの視座 —『天主実義』序跋から—	播本 崇史	165
常世と補陀落渡海 —『那珂湊補陀洛渡海記』について—	大鹿 勝之	183
東洋大学 東洋学研究所活動報告		197
日本的「死の隠蔽」の構造分析 —ぼっくり願望の現在—	岩崎 大	276(235)
シャマニズムの宗教的特質についての一考察		
—「エクスタシー」と「ポジション」の相関関係を兼ねて論ずる—	胡 樹	300(211)
アジャ・ゲゲン・シャヴィナルのオポー信仰について	バイ カル	308(203)
日本人の呼吸観 ～古典から現代的解釈に臨む～	番場 裕之	320(191)
前期チャールキヤ朝史の再検討(その2)		
—第5代ヴィクラマーディティヤ1世の治世を中心に—	石川 寛	336(175)

平均葬儀費用調査のあり方に関する一考察……………	愛宕 邦康	350(161)
近代韓国仏教の動向(1) —『朝鮮仏教月報』(1912-1913)の分析を通して— ……………	佐藤 厚	374(137)
チベットにおける『般若心経』の呪解釈の展開……………	現銀谷史明	388(123)
『真実光明論』(Tattvāloka)研究: “推論による無自性性の論証”の議論に関して(2)……………	計良 龍成	402(109)
靖邁『般若心経疏』の成立について……………	林 香奈	414(97)
『金光明経』第五章「空性章」訳註……………	ウルジージャルガル	426(85)
『異本上宮太子傳』の成立と流布……………	伊吹 敦	462(49)
近代天皇制と日蓮主義的国体論の顕密変動 —変動段階と両者の構造連関— ……………	西山 茂	488(23)
キリスト教正教と北方やアジアの靈性 —キルケゴール・砂漠の父祖・聖愚者・播隆・庄崎良清—……………	中里 巧	510(1)

## 第52号 2015年3月発行

世阿弥伝書における先祖観 —芸統と稽古論から『遊楽習道風見』へ— ……	原田 香織	1
芥川龍之介の「白」——「夢十夜」との関連から……………	山崎 甲一	17
詩と音楽 —萩原朔太郎の「黒い風琴」を中心に……………	エルドンパートル	31
身体・戦争・風土・恋-愛の視座 —日本文学持ち歩き(三)—……………	竹内 清己	39
ネルヴァルの詩的探究における二つの放浪のイメージ —『粹な放浪生活』と『ボヘミアの小さな城』……………	朝比奈美知子	59
道快編『寛空等印信類聚』(仮題)について(その二)……………	伊藤 宏見	73
三聚法の形成と変容 —『大乗義章』を中心として—……………	岡本 一平	103
基撰『大般若経理趣分述讚』の思想と日本の密教文献への影響……………	林 香奈	129
海保青陵の「理」……………	坂本 頼之	141
朱熹『易学啓蒙』研究序説(1) —安東省菴の研究—……………	伊香賀 隆	155
補陀落渡海と海中の浄土……………	大鹿 勝之	171
東洋大学 東洋学研究所活動報告……………		185
分派教団における「教え」の形成過程 —法公会と真生会の場合—……………	隈元 正樹	258(333)
フォーマットとしての宗教施設 —ブルーリズムと神社の役割……………	松野 智章	270(321)
中国古代社会における巫教の史的変遷について(前編)……………	胡 樹	300(291)
「ヨーガの瞑想手法」~身体からの内部刺激~……………	番場 裕之	312(279)
ラーシュトラクータ朝史の新史料……………	石川 寛	330(261)
インド中世民衆思想における死生観 —スィク教祖ナーナクの場合—……………	橋本 泰元	344(247)
アウンサンスーチーの初期著作に見る〈仏教の社会化〉——dhammaとbhayaをめぐる—— ……………	田崎 國彦	378(213)
『朝鮮仏教総書』刊行計画について(1) —目録の紹介—……………	佐藤 厚	398(193)
『今昔物語集』巻十四「紀伊国道成寺僧写法花救蛇語第三」考……………	愛宕 邦康	412(179)
『世間灯明精要』(Lokappadīpakasāra)第七章「器世間の解説」 (Okāsalokaniddesa) 翻訳研究(1)……………	チャイトンディー・プラマハチャップン	430(161)
『金光明経』「金勝陀羅尼品」和訳研究……………	ウルジージャルガル	446(145)
聖徳太子慧思後身説の變化とその意味……………	伊吹 敦	472(119)
東郷平八郎に見る日本人の精神文化……………	王 廸	482(109)
行像東漸史考証……………	菊地 章太	498(93)
朱熹哲学における明德・新民・学問論 —東洋的ヒューマニズムの思想的確立—		

.....辻井 義輝	520 (71)
『鉄斎研究』 所載「鉄斎賛文」読解について .....	吉田 公平 544 (47)
Leib und Staat: Zur Aktualität der klassischen chinesischen Philosophie	
..... Werner GABRIEL ヴェルナー・ガブリエル	556 (35)
The Problems of Life and Death by Dōgen and Heidegger —In View of “Embodied Cognition”	
..... HASHI Hisaki 橋 稔	574 (17)
知の現況から聖愚者へ.....	中里 巧 590 (1)

## 第53号 2016年3月発行

慧光の頓漸円三種教について .....	岡本 一平	1
道快編『寛空等印信類聚』(仮題) について (その三) と印信の種々相 .....	伊藤 宏見	25
漂着の風景 一日秀上人の補陀落渡海— .....	大鹿 勝之	53
白隠禅師における中世思想 —能楽の視点から .....	原田 香織	67
朱熹『易学啓蒙』 研究序説 (2) ～安東省菴の研究～ .....	伊香賀 隆	81
楊廷筠の「万物一体」論		
—『代疑篇』 第四の問答を中心として—.....	播本 崇史	99
漱石・龍之介の“相対的他者” の視座		
——「永日小品」・「火鉢」と「戯作三昧」.....	山崎 甲一	123
トーマス・ド・クインシー『英国阿片吸引者の告白』 とボードレール		
—遊歩、群衆、生の根源としてのアジア .....	朝比奈美知子	135
一九世紀前半の肥料商と地域市場 .....	白川部達夫	145
「満洲国」時代における東蒙古文化教育論考		
—民族の生存意志と文化共生 .....	エルドンバートル	157
東洋大学 東洋学研究所活動報告.....		171
『道要靈祇神鬼品経』の成立と効鬼法の普及 .....	菊地 章太	272(143)
中国古代社会における巫教の史的変遷について (後編) .....	胡 樹	300(115)
『朝鮮仏教総書』刊行計画について (2) —計画の経緯— .....	佐藤 厚	320 (95)
本乗撰『徳本行者遺事』の活字本二種をめぐって.....	愛宕 邦康	334 (81)
初期真宗における往生の理解 —東国門徒を中心に .....	板敷 真純	350 (65)
『金光明経』 「無染著陀羅尼品」和訳研究.....	ウルジーガル	360 (55)
Gopadattajātakamālā における比喩表現について .....	山崎 一穂	376 (39)
超自然的能力 (siddhi) 体験について		
～『ヨーガ・スートラ』から現代的解釈に臨む～.....	番場 裕之	388 (27)
キルケゴールとキリスト教正教 —霊性をめぐって— .....	中里 巧	414 (1)

## 第54号 2017年3月発行

浄影寺慧遠の二蔵説の形成 —達磨鬱多羅「釈教述義」と慧遠『勝鬘義記』—		
.....	岡本 一平	1
『釈摩訶衍論』における「六馬鳴」について —法滅と授記を中心に— .....	関 悠倫	27
金工の美と伝統について (そのⅠ) —作例を掲げて— .....	伊藤 宏見	51
補陀落渡海と入定 —薩摩における日秀上人— .....	大鹿 勝之	85
江戸時代の湯殿山信仰と一世行人の即身仏.....	アンドレア・カステリョーニ	101
朱熹『易学啓蒙』 研究序説 (3) ～安東省菴の研究～ .....	伊香賀 隆	117

思考の枠組みから見た海保青陵の思想の展開	坂本 頼之	133
能楽伝書における神仏思想の展開 —世阿弥から八帖花伝書へ—	原田 香織	151
郁達夫における日本耽美派の受容 —『沈淪』『過去』をめぐって—	エルドンバートル	167
「戦後文学」の進展—風化と伝承と— 日本文学持ち歩き (四~五) —	竹内 清己	177
東洋大学 東洋学研究所活動報告		
一、研究所の活動概要		197
二、プロジェクト研究報告		198
三、研究発表例会・公開講演会		240
創価学会の基礎思考 —牧口常三郎の価値論の場合—	西山 茂	270(263)
媽祖崇拜の拡大と諸宗教との融合	菊地 章太	288(245)
孔子儒教におけるシャマニズムの特性について	胡 樹	310(223)
井上円了の修身教会関係雑誌の研究 (1) —『修身教会雑誌』(明治37.2—明治39.12)—		
	佐藤 厚	328(205)
現代葬儀における料金トラブル類発のメカニズム	愛宕 邦康	346(187)
M. K. GANDHI'S FOCUS ON VALUES OF BASIC EDUCATION		
	Koppula Victor Babu コブラ・ヴィクター・バブー	360(173)
密教における殺と降伏	藤井 明	376(157)
クシェーメンドラ本「大地の布施物語」和訳研究	山崎 一穂	388(145)
Śikṣāsamuccaya に説かれる受戒法をめぐって	鈴木 伸幸	412(121)
『金光明経』「如意宝珠陀羅尼品」和訳研究	ウルジージャルガル	424(109)
『釈軌論』第2章における世親の阿含経解釈の特徴	堀内 俊郎	440(93)
『長部註』における仏説の一考察	越後屋正行	458(75)
インド古典建築論に見られる grāma について	出野 尚紀	474(59)
『ラクシュミー・タントラ』第5章訳註 (1) —3種のグナによる顕現—		
	三澤 祐嗣	486(47)
『シヴァ・プラーナ』に見られるサティーの生涯	澤田 容子	498(35)
死生観形成における日常性の問題 —日常における死の隠蔽と非日常における死の苦悩—		
	岩崎 大	510(23)
東方正教会における余白の思想 —イコンや悪魔祓いをめぐる実存的思索の構造—		
	中里 巧	532(1)

## 第55号 2018年3月発行

真言密教における如意宝珠観 —『二十五箇条御遺告』と『釈摩訶衍論』との関係—		
	関 悠倫	1
金工の美と伝統について (そのII) —見過された貴重な作品の種々相—	伊藤 宏見	29
作品研究『檜垣』—妖艶美と禪の「汲水輪」の表現性—	原田 香織	75
文学と歴史 —牛島春子「豚」「祝といふ男」をめぐって—	エルドンバートル	89
ロマンの世界化/世界化のロマン —日本文学持ち歩き (六) —		
	竹内 清己	101
異邦の言語と内的想像力 ネルヴァル『東方紀行』より	朝比奈美知子	131
東洋大学 東洋学研究所活動報告		
一、研究所の活動概要		143
二、プロジェクト研究報告		145
三、研究発表例会・公開講演会		185
媽祖説話の生成と変容	菊地 章太	224(305)

並木栗水の案内	吉田 公平	248(281)
井上円了の修身教会関係雑誌の研究(2) —『修身』(明治40.1—44.5) —	佐藤 厚	266(263)
伯耆俳諧師山本春亀・哥野夫妻雑考	愛宕 邦康	280(249)
志玉の『華嚴五教章』の講義録を通じての金春禅竹筆の『六輪一露之記』の仏教思想	Frédéric GIRARD フレデリック・ジラルール	306(223)
バトゥル・リンボチエの『修習次第』試訳	石川 美恵	334(195)
『学処集成』「布施波羅蜜章」における「信」の研究		
梵蔵漢の対照と引用經典の同定を通して	鈴木 伸幸	350(179)
『仏随念注』・『仏随念広注』に対する文献学的研究(1)		
—Arthavinīścayasūtranibandhana との対比で—	堀内 俊郎	382(147)
『長部註』における飲酒の過失の分析		
北伝資料との比較研究	越後屋正行	406(123)
The Reconstruction of Tradition:		
The Court Case of Sati Temple and Its Implication for Contemporary India	Aikawa Emi 相川 愛美	430(99)
グルー＝ナーナクの思想における「神の自己顕現」の観念	橋本 泰元	450(79)
『シルパ・シャーストラ』試訳と註解	出野 尚紀	468(61)
『ラクシュミー・タントラ』第5章訳註(2) マハットとアハンカーラの顕現	三澤 祐嗣	478(51)
『シヴァ・プラーナ』におけるアルダナーリーシュヴァラの一神話	澤田 容子	488(41)
紀平正美と行の哲学 —『行の哲学』における自我—	大鹿 勝之	504(25)
東方キリスト教会の霊性への端緒	中里 巧	528(1)

## 第56号 2019年3月発行 谷地快一博士記念号

谷地快一博士略歴・主要業績一覧		i
谷地快一先生	相楽 勉	xv
『釈摩訶衍論』の遼代における流通 —房山石経の記述と周辺事情—	関 悠倫	1
金工の美と伝統について(そのⅢ) —新たな発見に問いかける—	伊藤 宏美	25
高田門徒の高田顕智『聞書』の資料的価値 —醍醐本『法然上人伝記』をめぐる—	板敷 真純	57
朱熹『易学啓蒙』研究序説(4) ～安東省菴の研究～	伊香賀 隆	73
狂言『花子』における坐禅という仕掛け	原田 香織	93
「満洲国」時代における西部内蒙古文化教育論考 —啓蒙と共生—	エルドンバートル	109
文学的《上総》の光彩 —日本文学持ち歩き(七)—	竹内 清己	119
東洋大学 東洋学研究所活動報告		
一、研究所の活動概要		149
二、プロジェクト研究報告		150
三、研究発表例会・公開講演会		195
四、彙報		215
執筆者紹介		216
〈講演〉『近代艶隠者』の思想的背景	Frédéric GIRARD フレデリック・ジラルール	236(305)
〈講演〉中国文化の贈り物 —性善説—	吉田 公平	244(297)
伝統宗教の「次世代教化システム」——教育界との比較と事例検討	川又 俊則	258(283)

## 「信仰盲」という分析概念は可能か

- 8 개국 調査を踏まえての日本における宗教意識の考察 —……………松野 智章・ 272(269)
- 継承制を廃止した仏教寺院における檀徒増加の実態
- 大分・妙瑞寺の非継承墓申込者を対象とした事例研究 —……………井上 治代・ 286(255)
- 「御法さま」考 — 人法一箇と法面人裏……………西山 茂・ 294(247)
- 今日の台湾における地藏信仰の側面 — 『占察經』を中心に —……………伊藤 真・ 306(235)
- 『死靈解脱物語聞書』研究方法論……………愛宕 邦康・ 328(213)
- 『サーダナ・マラー』における 2 種の五護陀羅尼マンダラ……………園田沙弥佳・ 344(197)
- インドにおける『般若心經』注釈文献の研究
- ヴィマラミトラ注 (1) —……………堀内 俊郎・ 376(165)
- 世変經成立年代考……………菊地 章太・ 396(145)
- 『長部註』における pamāda (放逸) と appamāda (不放逸) について
- アルコール依存のような様相に注目して……………越後屋正行・ 416(125)
- Women Who Spend Their Life with Their Family Deity in Contemporary India:
- A Case Study of the Rānī Saī Worship……………AIKAWA Emi 相川 愛美・ 438(103)
- 前期チャルキヤ朝史の再検討 (その 3)
- 3 代王マンガレーシャ時代の社会と文化を中心に……………石川 寛・ 456 (85)
- グルー=ナーナクの実践論……………橋本 泰元・ 474 (67)
- 『シヴァ・プラーナ』所収の「ヴィシュヴェーシュヴァラ・マーハートミヤ」:
- 和訳と註解……………宮本 久義・ 488 (53)
- 紀平正美『行の哲学』における大行 — 個性と価値、歴史、国家 —……………大鹿 勝之・ 504 (37)
- ペドロ・ゴメス『講義要綱』における人間靈魂の教育……………大野 岳史・ 518 (23)
- 神の宮 — 東方キリスト教会の言葉観と聖書の当該箇所 —……………中里 巧・ 540 (1)

## 第 57 号 2020 年 3 月発行 山崎甲一博士記念号

- 山崎甲一博士略歴・主要業績一覧…………… i
- 山崎甲一先生……………相楽 勉・ vi
- 浄影寺慧遠における浄土思想の問題群……………岡本 一平・ 1
- 初期真宗における真実報土の理解 — 特に了海の『他力信心聞書』を中心に —……………板敷 真純・ 23
- 海保青陵『洪範談』の「心」と「気」……………坂本 頼之・ 37
- 千葉県市原市における漢文石碑・資料の翻刻 (一)……………辻井 義輝・ 55
- 子ども俳句と季節 — 考現学の序章として —……………谷地 快一・ 79
- サイチヨンガにおける日本文化受容 — 啓蒙思想と憂患意識 —……………エルドンバートル・ 95
- 信濃路にみる〈恋・愛〉のメモリ或いは堀辰雄 — 〈看取り〉の結婚者 —……………竹内 清己・ 107
- 享保・元文期の摂津の農業経営と肥料
- 武庫郡上瓦林村岡本家の場合 —……………白川部達夫・ 127
- 東洋大学 東洋学研究所活動報告
- 一、研究所の活動概要…………… 151
- 二、プロジェクト研究報告…………… 152
- 三、研究発表例会・公開講演会…………… 176
- 四、彙報…………… 192
- 執筆者紹介…………… 195
- 「与力関係」の射程とその限界……………西山 茂・ 208(289)
- 佛教は哲學なりや宗教なりや (中國篇・上)

—梁啓超・章炳麟の佛教理解と浄土教・禪宗の位置づけ—	伊吹 敦	234(263)
韓国における『天地八陽神呪経』の靈的機能	佐藤 厚	246(251)
Did Huayan's Teachings Influence Dōgen's Thought? Dōgen's Treatment of Huayan's Concepts of "Mind-Only" and "One-and-Allness" (Part 1: The Intellectual Relationship between Dōgen and Huayan)	Frédéric GIRARD フレデリック・ジラル	260(237)
世変経成立年代考補遺	菊地 章太	272(225)
ターラナータ著『般若心経頌註』について	現銀谷 史明	288(209)
翻訳チベット語文献・漢訳仏典読解への方法論的反省 —『般若心経』注釈書と『要義釈論』を例として—	堀内 俊郎	308(189)
インド密教における五護陀羅尼と女尊 — Mahāmāyūrī と Mārīcī を中心に—	園田 沙弥佳	330(167)
『長部註』における飲酒観の分析 『未曾有因縁経』との比較研究	堀池 (越後屋) 正行	356(141)
Contemporary <i>Satī</i> Worship: A Case Study of <i>Satī</i> Temples in Shekhawati	AIKAWA Emi 相川 愛美	376(121)
ヒンドゥー教のクリシュナ寺院の組織と運営 —インド・ヴリンダーヴァンのラーダーラマン寺院の事例から—	澤田 彰宏	392(105)
12~13世紀カルナータカの地域勢力 —グッタの事例を中心に—	石川 寛	414(83)
グルー=ナーナクの実践論 —修行階梯説について—	橋本 泰元	422(75)
ジャイナ教空衣派における「タントラ的な美徳の瞑想」〈1〉 —「物質的な対象に関わる瞑想 (piṇḍasthadhyāna)」について—	是松 宏明	434(63)
紀平正美と日本精神 —津田左右吉、和辻哲郎の議論に関連して—	大鹿 勝之	454(43)
ペドロ・ゴメス『講義要綱』における正義と日本におけるその受容	大野 岳史	468(29)
闇と暴力からの回復 —東方キリスト教的考察のための諸資料—	中里 巧	496(1)

## 第58号 2021年3月発行

幕末・明治期における播磨西部の肥料商の仕入れ動向	白川部達夫	1
『釈摩訶衍論』の成立と武則天 —新羅華嚴との関係の再考—	関 悠倫	21
『徒然草寿命院抄』の注釈研究 —評言を中心に—	久保田一弘	47
善知鳥伝承考 (上) —文芸の源泉を求めて—	菊地 章太	57
日本留学時代におけるサイチヨンガ文学論考 —浪漫的激情と啓蒙思想—	エルドンバートル	79
『風立ちぬ』にみる堀辰雄と宮崎駿のゆき逢い —時代の「死生」に〈愛〉を求めて—	竹内 清己	95
子ども俳句と震災 —四季を発見する—	谷地 快一	115
千葉県市原市における漢文石碑・資料の翻刻 (二)	辻井 義輝	131
東洋大学 東洋学研究所活動報告		
一、研究所の活動概要		155
二、プロジェクト研究報告		156
三、研究発表例会・公開講演会		159
仏教青年会の現職研修 —若手僧侶育成による次世代教化—	川又 俊則	192(349)
近代における在家知識人の法華経解釈 —法華会・小林一郎の事例—	大西 克明	206(335)
The <i>Huayan Sūtra</i> as 'Our Sūtra': A Reappraisal of Kaneko Daiei's Huayan Thought	Itō Makoto 伊藤 真	226(315)

## Did Huayan's Teachings Influence Dōgen's Thought?:

Dōgen's Treatment of Huayan's Concepts of "Mind-Only" and "One-and-Allness"

(Part 2: Dōgen's Criticism and Acceptance of Huayan)

- ..... Frédéric GIRARD フレデリック・ジラルール・ 256(285)
- 日本の僧侶は出家でなく在家である ..... 愛宕 邦康・ 272(269)
- 韓国仏教信者の活動—祈祷と修行— ..... 佐藤 厚・ 288(253)
- 佛教は哲學なりや宗教なりや(中國篇・下)—近代中國における佛教の脱宗教化の進展—  
..... 伊吹 敦・ 318(223)
- パトウル・リンボチェによる大・中・小の『現觀莊嚴論』註の先後について  
..... 石川 美恵・ 332(209)
- インドにおける『般若心經』注釈文献の研究—ヴィマラミトラの「八様相」解釈—  
..... 堀内 俊郎・ 354(187)
- Mahāśītavatī* の注釈書について—*Mahādaṇḍa dhāraṇī* との比較を中心に—  
..... 園田沙弥佳・ 372(169)
- 梵文『維摩經』の偈頌：第1章、第1~15偈 ..... 梅田 愛子・ 390(151)
- 『中部』「一切漏經」における断酒觀 āsava(酒)と khīṇāsava(断酒)とに注目して  
..... 堀池 正行・ 422(119)
- 求められるパティヴラター(妻の夫に対する貞節さ)とその実態  
—ラーニー・サティー女神崇拜を事例として— ..... 相川 愛美・ 444(97)
- 後期チャールキヤ朝統治下の中間的支配者集団—旧ダールワーダ県の事例を中心に  
..... 石川 寛・ 460(81)
- スィク教聖典におけるスーフィー詩人ファリード—異宗教間の対話—  
..... 橋本 泰元・ 484(57)
- ジャイナ教空衣派における「タントラ的な美徳の瞑想」〈2〉  
—「言葉に関わる瞑想(padasthadyāna)」について— ..... 是松 宏明・ 504(37)
- 村岡典嗣と日本精神—「日本精神について」と「日本精神を論ず—敗戦の原因」—  
..... 大鹿 勝之・ 518(23)
- 古代オリエントから連なる神の聖性—きよめにかんする諸資料— ..... 中里 巧・ 540(1)

## 第59号 2022年3月発行

- 空海の「愚童持齋心」における「持齋」について ..... 竹村 牧男・ 1
- 善知鳥伝承考(下)—追尋、そして放擲 ..... 菊地 章太・ 17
- 白河(福島)にみる〈恋-愛〉の日本文学—歌枕・旅枕・恋枕 ..... 竹内 清己・ 41
- 千葉県市原市における漢文石碑・資料の翻刻(三)  
—柏原黒須家、今富千葉家、請西藩土政田謙藏の碑— ..... 辻井 義輝・ 51
- 東洋大学 東洋学研究所活動報告  
一、研究所の活動概要 ..... 75  
二、プロジェクト研究報告 ..... 77  
三、研究発表例会・公開講演会 ..... 95
- Zum Begriff der Substanz in der chinesischen Philosophie  
..... Werner GABRIEL ヴエルナー・ガブリエル・ 122(329)
- Individual and Environment:  
In Japanese Buddhism, Where Does Life, Consciousness and Humanity Begin and End?  
..... Frédéric GIRARD フレデリック・ジラルール・ 156(295)
- Nishitani and Nihilism: The Institution of a History ..... Paolo LIVIERI パオロ・リヴィエリ・ 168(283)

仏教教団が実践する教化活動の脆弱性と強靱性 —宗勢調査の比較考察— .....	川又 俊則	184 (267)
『付法簡子』と『西國佛祖代代相承傳法記』の史的意義 .....	伊吹 敦	218 (233)
『宗鏡録』所引「観和尚十種道場観」について —新羅華嚴文献との関連— .....	佐藤 厚	228 (223)
gNas drug pa の般若心経註について .....	現銀谷史明	250 (201)
GONTA, Ngawang Woesung ゴンタ・ガワンウースン		
菩薩は般若波羅蜜に依拠して住す —ヴィマラミトラの『般若心経注』より— .....	堀内 俊郎	270 (181)
<i>Bhūtaḍāmaratantra</i> のマンダラ観想法 —BBT、HBT の記述比較— .....	藤井 明	292 (159)
『大護明陀羅尼』注釈書とヴァイシャリー疫病消除説話 .....	園田沙弥佳	308 (143)
チャイタニヤのバクティ思想の背景 —南インドのバクティ運動との関連において— .....	橋本 泰元	332 (119)
メーワール派細密画『ギター・ゴヴィンダ』Folio 154 について .....	三澤 博枝	344 (107)
聖地巡礼における遵守規則 —『トリスタリーセトウ』172-203 の和訳と註解— .....	宮本 久義	362 (89)
10~13 世紀カルナータカ地方の中間的支配者集団 旧ダールワーダ県南部の事例を中心に.....	石川 寛	378 (73)
ジャイナ教空衣派における「タントラ的な美徳の瞑想」〈3〉 —「形象に関わる瞑想 (rūpasthadhyāna)」と 「形象を超えたものの瞑想 (rūpātītdhyāna)」について— .....	是松 宏明	388 (63)
[研究ノート] シェリングの「マルキオン論文」について .....	長島 隆	406 (45)
村岡典嗣の日本精神論 —国体についての議論— .....	大鹿 勝之	420 (31)
「真実ノ教」における原因論 —ベドロ・ゴメスと十六世紀のスコラ学—.....	大野 岳史	432 (19)
キリスト教の呪術性と日本のスピリチュアリズム —現代キリスト教の神秘体験と日本の心霊現象— .....	中里 巧	450 (1)

## 別冊 東洋思想における心身観

Separate Volume *A Study of the Mind-Body Problem in the Eastern Thought*

2003 年 3 月発行

はじめに.....	菅沼 晃	i
行路死人歌の成立とその行方.....	大久保廣行	1
西行の心身観を考える基盤 —「瀬戸内・讃岐」歌枕地名と空海・崇徳院— .....	高城 功夫	17
佛教考古学より見たる身心観.....	伊藤 宏見	33
九想図にみられる心身観 —日本における九想図の展開を中心として— .....	榎本 榮一	53
公開講演会 東洋医学の人間科学 —東洋的行法の心理学的研究を中心に— .....	春木 豊	79
公開講演会 禅と心身論 .....	恩田 彰	101
公開講演会 いのちの時代へ —二十一世紀の養生・癒し・ホリスティック医学— .....	帯津 良一	129
〈研究報告〉 チベット仏教における心身観		

—シャーキャチョクデン著『毘婆沙大海』における「破我品」解釈を通して—

.....	現銀谷史明	162(199)
環境倫理と日本の「風土」—環境倫理と主体性—	大鹿 勝之	176(185)
〈身体〉へのトランスパーソナル学的接近—その臨床の実践—	甲田 烈	198(163)
聖域構造と死生観—東西を比較して—	中里 巧	210(151)
白隠の心身観	伊吹 敦	222(139)
唐・五代社会に見られる道教の身体観受容—長安昭成観の夾紵像をめぐる—	遊佐 昇	234(127)
チベット医学における心身観—『ギュウ・シ』を中心として—	石川 美恵	248(113)
「ヨーガ行法による身心の目覚め」	番場 裕之	260(101)
クリスチャン・ブイ著		
『ナータ派ヨーガ行者と諸ウパニシャッド』—抄訳—	橋本 泰元	296(65)
インド芸術にみられる心身観	清水 乞	318(43)
『金剛般若経』に見られる色身・法身の偈頌	渡辺 章悟	344(17)
アーユルヴェーダの心身観	菅沼 晃	360(1)

別冊 日本における死への準備教育—死の実存的把握をめざして—

Separate Volume *Death Education in Japan: An Approach to the Education for the Understanding of Existential Meaning of Death*

2007年3月発行

はじめに	高城 功夫	i
西行の生死観—命と死をめぐる思想—	高城 功夫	1
死との対峙—万葉歌人山上憶良に見る死の文学化—	大久保廣行	13
万葉挽歌にみる「家」	菊地 義裕	29
死を観想する—能楽の中の死生観—	原田 香織	43
芭蕉信仰のかたち—『諸国翁墳記』をめぐる—	谷地 快一	59
漱石 修善寺の大患—『思ひ出す事など』を貫くもの—	山崎 甲一	77
看取りのフィアンセ、あるいは青春の別れ		
—横光利一『春は馬車に乗って』と堀辰雄『風立ちぬ』に見る—	竹内 清己	95
北方の医学・宗教・文学—渡辺淳一文学館と天理教静縁分教会を訪ねて—	竹内 清己	105
『チベットの死者の書』と日本の四十九日中陰回向	川崎 信定	123
日本人の死後観—十三仏信仰を中心として—	渡辺 章悟	143
撰関期の日記にみられる「死」の周辺—『御堂関白記』『小右記』を中心として—	榎本 榮一	169
近代日本の法華系在家仏教教団にみる死生観	大谷 栄一	185
公開講演会		
死ぬ権利はあるか	木阪 昌知	199
公開講演会		
仏教を中心とした死の種々相		
—我々はシュレーディンガーの猫なのか—	佐々木 閑	235
公開講演会		
緩和ケアと哲学	岩瀬 哲	261

公開講演会

詩歌に表れた北方の生と死 —中城ふみ子の短歌を中心に— …………… 田村 圭司… 289

シンポジウム

日本における死への準備教育 —中等・高等教育機関における現状と課題  
…………… 中里 巧… 313  
朝倉 輝一  
山館 順  
相楽 勉

安楽死・尊厳死に関する若干の考察

—森鷗外「高瀬舟」南木佳士「山中静夫氏の尊厳死」を読む—…………大鹿 勝之… 352 (23)

「死への準備教育」の必要性と可能性 ……………相楽 勉… 366 (9)

研究調査報告……………中里 巧… 374 (1)